

# 2009.12 VOL.19

**FFG** ふくおかフィナンシャルグループ  
M O N T H L Y S U R V E Y

## F|F|G 調 査 月 報

### ■産業調査

企業の省エネ活動の方向性  
～省エネ法改正を受けて～

# 調査 月報

2009. 12. DEC

VOL. 19

## CONTENTS[ 目次 ]

### [ 01 ]—— トップに聞く

飯塚 富矢 氏(日本鑄鍛鋼 株式会社 代表取締役社長)

柴田 博信 氏(株式会社 アントルメ菓樹 代表取締役社長)

竹下 敏昭 氏(竹下製菓 株式会社 代表取締役社長)

### [ 08 ]—— 産業調査

企業の省エネ活動の方向性

～省エネ法改正を受けて～

### [ 13 ]—— しーず君の研究室訪問

微生物を使った環境モニタリング用バイオセンサーシステムの開発

### [ 14 ]—— FFG ニュース

中小企業経営者のための「事業承継セミナー」開催

福岡銀行本店営業部リニューアルオープン

### [ 17 ]—— 海外レポート

中国の百貨店、スーパー事情

### [ 20 ]—— 経済動向

九州、福岡県、熊本県、長崎県

### [ 27 ]—— 経済指標

### [ 31 ]—— アジア展示会情報

### [ 32 ]—— セミナー案内

#### 【バックナンバーのお知らせ】

「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。

<http://www.fukuoka-fg.com/>

FFGのお取引先企業をご紹介します。

### 日本鑄鍛鋼 株式会社

代表取締役社長 **飯塚 富矢氏**

取引店 福岡銀行 八幡支店



### 株式会社 アントルメ菓樹

代表取締役社長 **柴田 博信氏**

取引店 熊本ファミリー銀行 健軍支店



### 竹下製菓 株式会社

代表取締役社長 **竹下 敏昭氏**

取引店 親和銀行 佐賀中央支店



## 日本鑄鍛鋼 株式会社

代表取締役社長

## 飯塚 富矢氏

- 設 立：1970年 4 月
- 所 在 地：福岡県北九州市
- 資 本 金：6,000百万円
- 従 業 員：600名
- 事業内容：大型鑄鍛鋼品の製造・販売
- 取 引 店：福岡銀行 八幡支店
- 主な取扱品目：各種発電プラント、各種産業機械、大型船舶部品など
- 営業拠点：福岡県北九州市(本社・工場)、東京・神戸・長崎(営業所)

8割を占め、鑄鋼品が1割弱、鋼塊など加工材が1割強となっています。主力製品は発電所のタービンロータ(タービンの中で蒸気を受けて回転する部材)や製鉄所のバックアップロールなどの鍛鋼品です。これらは公衆の目に触れることはまずありませんが、10mを超える大型製品もあります。特に、発電所向けの大型タービンロータが製造できるメーカーは世界でも大変少なく、当社のものづくり力は高く評価されています。そのため現在では製品の約4割が中国・米国などの海外向けに輸出されるなど、当社製品はここ北九州を発して世界各地で活躍しています。

#### 技術と匠が融合する ダイナミックな世界

- 当社の製品は、その特殊な用途ゆえに、大きさだけでなく、強度や寸法精度など様々な要素で高水準の要求に応えるものでなければなりません。例えば、当社の製造工程では、500tもの加熱された「鋼塊」を、国内有数の10,500tプレス機を駆使して鍛造し、最終的には過酷な用途に耐えうる強度と、ミリ単位の寸法精度を併せ持つ製

品へと仕上げていきます。大型の「鋼塊」が「製品」へと姿を変えていく過程は、当社が培ってきた製造技術と、熟練工の匠の技が遺憾なく発揮され、互いが融合しあうダイナミックな世界といえます。

#### 「現場力」を伝承させる取組み

- ものづくりの中心は「機械設備」ではなく、それを動かす「人」にあります。当社では、永年社内でも培ってきた高度な技術や、ものづくりの精神を「現場力」と位置づけ、その伝承に努めることを人材育成の基本に据えています。

具体的には、従業員の入社年次や役職など階層毎に組み込まれた育成プログラムに従って、「安全」「基礎学習」「資格取得」「実技」「改善活動」等の研修を実施しています。こうした研修の講師を当社の現役社員やOBが務めることで、当社が誇る「現場力」を後進に伝承しようと考えています。

また、新たな技術開発のため、地元大学との産学連携も積極的に行っています。特に、当社に卒業生が多数在籍している九州工業大学や九州大学と連携して、製鋼や鍛造などの分野で共同研究を展開しています。

#### 名実ともに地域に根差した企業

- 当社は、新日本製鐵グループと三菱グループが共同出資を行い、1970年(昭和45年)に設立されました。当時は大型タンカーの建造と大型発電所や製鉄所の建設が目白押しであり、これらの重要部材である鑄鍛鋼品へのニーズに対応するため、新日本製鐵グループと三菱グループがそれぞれ有していた鑄鍛鋼品製造に関する技術や設備を当社に集約しました。

私は社長就任3年を機に「地方の中で光る存在になろう」をスローガンとして、登記上東京に置いていた本社所在地を、今年7月に北九州市へ移転しました。設立40周年の節目を来年に控え、名実ともに地元根差した企業になりつつあると自負しています。

#### 北九州発、世界有数の タービンロータメーカー

- 当社の製品構成は、鍛鋼品が約

## 技術開発により

### 更なる成長を目指す

- 当社は現在、中期経営計画「NP400」(New Press 400)の達成に向けて取り組んでいます。能力13,000tの巨大プレス機国内でも3本の指に入る規模導入により、600tを超える重量の超大型鋼塊の製造体制を確立するなどタービンロータの分野での存在感をさらに高め、売上高400億円を達成することが目標です。増設工事は順調で、来年秋にはこの新型プレス機が稼働します。

今後も発電所の大型化・高効率化の方向は続くでしょう。その結果、中核部材であるタービンロータにも、一層高い品質が求められることは必至です。また、中・小型のタービンロータは、中国など新興国の製造能力が先進国に追い付きつつあります。製品の大型化・高品質化への対応能力を身に付け、後発他社を引き離すことが重要な課題です。

そこで当社は、今年5月から「ボ

ストNP400」という中期経営計画を並行して実施し、将来への新たな布石を打っていきます。タービンの高効率化に対応できる高品質ロータの量産体制を確立することが主なターゲットですが、特色ある技術をさらに高め、高度化・多様化する顧客ニーズへ対応することで、更なる成長ステージを目指していく所存です。

### 産業の発展と人々の暮らしに貢献

- 当社は産業の発展と人々の暮らしに貢献することを基本理念としています。これからも、大型鋳鍛鋼品の製造を中核事業として、特色ある技術の創造と優れた製品の提供を通じて世界の産業と人々の暮らしに貢献していくとともに、「お客様から喜ばれ、社員から愛され、そして株主からも評価され、社会から尊重される会社」を目指してまいります。



福岡銀行  
取締役頭取 谷 正明

国内有数の大型プレス機が、真赤に熱せられた鋼塊を鍛造する様子は、まさにダイナミックな迫力に満ちていました。来年には、さらに大きな世界有数のプレス機が増設中の工場に設置されるなど、製品大型化への対応が進んでいきます。

北九州発の地元企業が、優れた製品の輸出を通じて世界の産業発展と人々の生活水準向上に貢献しながら、さらなる能力増強と技術革新に挑む姿勢を肌で感じました。当社が今後も業界をリードしていくことを確信しております。



発電用鍛鋼品『原子力用一体型低圧ロータ軸』



製鉄所用鍛鋼品『バックアップロール』



大型鋼塊を鍛造する10,500t プレス機



左から塩浦総務部長、谷頭取、飯塚社長、塩塚支店長



13,000t プレス機を待つ増設工場

## 株式会社 アントルメ菓樹

代表取締役社長

# 柴田 博信氏

- 設 立：1991年11月
- 従 業 員：社員80名（パート・アルバイト含む）
- 事業内容：菓子製造小売業
- 事業拠点：熊本市東野1丁目5-5
- 営業時間：9：30～20：00
- 定 休 日：第1火曜日
- 駐 車 場：40台

で熊本にもどり、10年後に「松月堂」の屋号を「アントルメ菓樹」に変更し、同時に店舗を改築して当店をスタートさせました。

### 米国留学で学んだ経営スタイル

今から30年ほど前に留学した米国では、日々驚きの連続でした。当時のサンフランシスコでは「広大な駐車場のある郊外のショッピングセンター」や「ドライブスルー方式の銀行」などに触れ、米国のモータリゼーション社会を目の当たりにしました。

父の代から、当店は熊本市の中心部から離れた場所にあり、ケーキショップとしては決していい立地ではありませんでした。「この土地で営業するには広い駐車場が必要」と開店当初からできるだけ駐車場を広くし、現在では40台分の駐車スペースを確保しました。さらに、雨の日にも快適に来店していただけるように、駐車スペースの一部には屋根を設ける配慮をしています。これも米国留学で学んだ経営スタイルを実践したものです。

### 夢にこだわる店づくりと妥協のない味の追求

洋菓子に欠かせないのは「夢」という要素だと考えています。ショーケースには常時ケーキ30種類以上、焼き菓子25種類以上を用意しており、ケーキ以外にも植物や雑貨などもディスプレイし

ています。また、ケーキと併せてご購入いただけるような様々な工夫を行っています。また、ケーキを通して季節を感じていただきたいとも考えており、季節ごとの商品を多く用意したり、年間20種類以上の新作ケーキを誕生させています。この秋の新商品である、熊本県産のごぼうを使ったチョコレートケーキ「ごぼうショコラ」や山江村の利平栗を使った「栗のタルト」などは、皆様に大変ご好評をいただいております。

宝石のように見て楽しいケーキも魅力的ですが、当店では「焼き菓子」にも力をいれています。素材がバター、小麦粉、砂糖、卵とシンプルなのに、シェフの腕が一番試されるのも焼き菓子です。サクサクのサブレ生地にキャラメルコーティングされたスライスアーモンドがたっぷり載った「フロラントン」は当店一押し商品です。

最近ではお客様のご要望も多様化し、世界に一つだけの「キャラクターケーキ」を注文されるお客様も増えてきています。平面から立体まで、かなり複雑な場合も極力ご要望にお応えするようにしています。また、遠方へのご進物のため早朝に菓子が必要でお越しのお客様には、開店時間前でも販売させていただいたり、お客様をお待たせしないように混雑時にはフロアにスタッフを配置したりするなど、接客にも大変力をいれています。



### 留学先の米国で家業を継ぐことを決心

当店は元々、父が営んでいた「松月堂」という和洋菓子店が始まりです。幼少の頃から、朝早くから夜遅くまで、盆も正月もクリスマスもなく忙しく働く父親の背中を見ていた私は、大学に入学した後も家業を継ぐ意識はあまりありませんでした。

英語が得意で貿易関係の仕事に興味があったため、大学生時代米国（サンフランシスコ）に留学しました。留学をしてみると周囲に英語が堪能な学生は大勢おり、大変な挫折感を味わうことになりました。そんな時に、たまたま文化祭で作ったケーキが好評だったことがきっかけで、菓子屋を継ぐことを真剣に考え始めました。たった一つのケーキが、国境を越えて人を喜ばせることができるという魅力にとりつかれ、菓子屋が嫌で留学したにも関わらず、菓子屋を継ぐことを決心しました。

帰国後は、福岡の「セーヌ」、次に神戸の「ミッシェル」に場所を移し修行を重ねました。その後、父が病気で倒れたことがきっかけ

さらに、店内からも、厨房の様子が見えるようにしています。厨房にいるパティシエ(菓子職人)のいきいきとした表情や、清潔感溢れる調理台でケーキを作っているプロセスをご覧いただくことで、お客様には安心感もお届けしたいと考えています。

### 菓子づくり、人づくり、夢づくり

近頃、マスコミなどで取り上げられる機会が増えてきたこともあり、パティシエにあこがれる若者が増えて、当店でも20人ほどのパティシエが修行しています。職人として技術を習得し仕事を覚えることは当然ですが、一番大切なことは「職人として一流になることではなく、社会人として協調性と社会性を身につけてもらうこと」だと考えています。「立派な職人である前に、一人前の社会人であれ」をモットーに、日夜、彼らの教育に当たっています。

当然、その中で、職人として技術とセンスを磨くことは必要です。当店のパティシエたちにもコンテスト等には積極的にチャレンジさせています。2009年4月に行われた「熊本県洋菓子技術コンテスト」では、当店のパティシエが上位3位までを独占するなど成果を残しています。

最近では、大学生などを対象に

「キャリアプランニングの講演」を行う機会もいただいています。自社社員のみならず、今の若者たちには、「自分の夢にむかって、ステップアップしてほしい」と強く願っています。自分の経験を伝えることで、若い人の力を引き伸ばしていくことが自分の使命であると強く感じています。

### 顧客、地域との心の交流

私たちがお菓子作りに喜びを感じる時は、お客様の輝く笑顔を見る時です。当店では、季節のご挨拶やお礼、婚礼の引き菓子などいろいろなシーンに合わせた詰め合わせのギフトをたくさんご用意しています。ギフトは贈る人の真心を伝えるものであり、心を和ませるものです。これからも地域の方々、おひとりおひとりの心を通わせるお手伝いをしながら、お菓子を通じて皆様と語り合い、心を通わせていきたいと考えています。

現在、アントルメは、当店一店舗のみで展開しています。今後、人材が育っていけば、いろいろな場所で、アントルメのお菓子を多くの方に味わっていただけるのではないかと考えています。



熊本ファミリー銀行  
取締役頭取 鈴木 元

店名の「アントルメ」とはフランス語で「ちょっと贅沢なおやつ」という意味があるそうです。その名の通り、ショーケースには芸術的で手の込んだケーキばかりで、オーナーを始めパティシエ達のお菓子への情熱と地道な努力を感じさせられます。

今後も、子どもたちを魅了し大人たちをも惹きつけてやまない、夢と楽しさの溢れる味わいを守り続けていかれることを期待しています。



左から栗のタルト、フロランタン、ごぼうショコラ



左から小林支店長、柴田社長、鈴木頭取



店舗の外観



店内風景



厨房の中の皆さん



## 竹下製菓 株式会社

代表取締役社長

# 竹下 敏昭氏

- 創 業：1902年
- 所 在 地：佐賀県小城市小城町池の上2500番地
- 従 業 員：80名
- 事業内容：アイスクリームの製造・販売、菓子の製造・販売
- 事業拠点：佐賀県小城市小城町池の上2500番地（本社、冷蔵工場、菓子工場）

### ブラックモンブラン誕生秘話

当社は1902年に祖父・竹下佐八が佐賀市元町で創業しました。森永製菓の創業者である森永太郎氏と親交があったことから、その当時いち早く大量生産方式を採用し、ビスケット類などを菓子問屋を通して販売する新しいスタイルの会社をスタートさせました。以来、現在まで一貫して地域に密着した商品展開を進めてきました。

1958年には、製菓部門に加えアイスクリーム部門も創設しました。主力商品である「ブラックモンブラン」は、父・竹下小太郎が1966年に発案したものです。商品名の由来は、父がアルプス山脈を訪れた時に「この真っ白い山にチョコレートをかけて食べたら美味しいだろう」と思ったことがきっかけです。同時に、「アルプスの最高峰であるモンブランのようにアイスクリームの最高峰を目指す」という意味も込められています。

ブラックモンブランの発売当初のアイス業界は、水に色をつけ甘味料を加えて固めた商品が大半で

した。その中で、バニラアイスをチョコランチで覆った洋菓子のような高級感が子供たちの目を引きました。個性的な商品名と、妥協のない味への追求により、発売から40年以上たった今でも、西日本地区の方にはお子様から大人まで幅広い層に親しみをいただいております。当社の冷蔵は西日本を中心に、年間1000万本以上の出荷を続けています。

### 「夢と遊び心」の追求から生まれた「くじ付アイスバー」

当社の冷蔵の人気を支える理由のひとつは、「アイスバーの焼印によるくじ」だといえます。お菓子づくりは、子供はもちろん大人にも夢と遊び心を与えることだと考えています。その思いから、アイスを食べ終わった後にも遊び心を刺激できるようにと、くじの仕組みを販売当初から導入しています。

はじめは「もう一本」のみでしたが、その時代背景にマッチした「当たりのしくみ」を取り入れて、現在まで続いています。

こうしたくじによる販売手法は、問屋や販売店の協力なくして成せるものではありません。お取引先の皆様から信頼をいただいていることで、このシステムが現在まで維持できていると、大変感謝しております。

### 消費者に安全安心なお菓子を

食の安全に対する消費者の意識が高まる中、お客様の信頼を得るために、特に留意しているのは、品質管理への配慮です。

生産工程においては、原料を厳選すると共に、高熱殺菌処理などを行い安全面に気を配っています。また、異物混入を避ける方法として、他社では金属探知機などが一般的ですが、金属以外の異物への感度をあげるために、当社ではX線探知機を採用し、最終製品をチェックしています。

### 消費者のハートを射止めつづける努力

100円以上のアイスが主流のなか、ほとんどの商品が低価格にこだわり続けているのは、「子供たちの手の届く値段でおいしいものを」という開発当初からの一貫した想いがあります。

味の面では、例えば一見ずっと変わらないように見えるブラックモンブランについても、氷菓（乳固形分3%未満）から、より濃厚で舌触りがなめらかなアイスミルク（同10%以上）に変更したり、現代人の体格を考慮して80ミリリットルだった内容量を115ミリリットルに増量したりと、きめ細やかな調整をおこなっています。

モンブラン以外にもサクッとした食感が心地よい氷片入りのミル

クセーキバーの「ミルクック」が30年、バナナアイスとチョコレートのしましま模様が特徴の「トラキチ君」が20年とロングセラーを続けています。これらの商品は、季節によって氷片の分量を変化させ、糖度を調整するなど、飽きやすい消費者の心をつかみ続ける努力を重ねています。

### 社員の育成と 商品開発への熱い想い

当社は創業以来、「顧客との密接なつながり」「親しみやすいキャラクターによるCM展開」などローカル色を重視した営業展開を行っています。その一方で、最新のトレンドを取り入れ、洗練された商品をお客様にお届けしたいとも考えています。そのため、全国で行われる製菓関連の展示会や発表会には、積極的に社員を派遣し、流行を的確に捉え、感性を磨き、蓄積された技術と最新の技術の融合を行っていける人材を育成しています。

今後は、少子高齢化の時代を迎えるため、子どもだけをターゲットにした市場には限界があります。

「少量でよいからおいしいものを」という現代人の嗜好の変化を商品に反映させるために、社内に設けた開発チームは、繊細な味覚と感性をもつ女性を中心に編成しています。その中で、消費者の高級志向に対応し素材や包装にもこだわった製品や、大手コンビニと共同で開発した「ブラックモンブランパン」など、その時々時代の要請に応えつつ、ユニークな商品開発を続けています。将来的には「ブラックモンブラン」を超える新商品の誕生を目指して、日々努力を続けています。

### おいしい、楽しい、 かわらぬお菓子づくりを

私どもは、創業当時から「我社はおいしい、楽しい商品を作って、社会に奉仕する」を経営理念として歩んで参りました。アイスの世界をとりまく状況はめまぐるしく変化し、嗜好の多様化には著しいものがありますが、これまで培ってきた独自の商品開発力と、地場企業ならではの手づくり感を武器に、「おいしい、楽しい商品」を作り続けていきたいと考えています。



親和銀行  
取締役頭取 鬼木 和夫

変化の激しいお菓子業界の中で、当社は知名度の高い「ブラックモンブラン」をはじめ、数々のヒット商品を生み出されています。

そのヒット商品の裏側には、子どもたちのハートを射止めるための商品開発や安心して食べられるための企業努力があることを改めて認識いたしました。

これからも、皆様に愛される「おいしい、楽しい」商品づくりに邁進され、夢を与える企業として益々発展されることを期待しています。



風車のある工場



明治期の菓子レシビや通い帳



アイスクリーム製造ライン



左から北川支店長、竹下社長、鬼木頭取



製品の検品作業

## 企業の省エネ活動の方向性～省エネ法改正を受けて～

### はじめに

政府が「温室効果ガスを2020年までに90年比25%削減する」という高い目標を国際公約として掲げるなど、現在、地球温暖化問題やその対策としての温室効果ガス削減に対する関心が高まっています。そうした中、来年4月から温室効果ガス削減に向け、「エネルギーの使用の合理化に関する法律（以下、改正省エネ法）」が施行されるなど、企業の省エネルギー活動の活性化を促す動きが起きています。

そこで本稿では、改正省エネ法の概要や企業の省エネ活動を促進するための制度や取り組み事例等をご紹介します、企業の省エネ活動の方向性や、そのもたらす効果について考察します。

### 1. 改正省エネ法の概要

#### 改正の背景

省エネ法は石油危機を契機として、1979年にエネルギー使用の合理化推進を目的に制定されました。その後、地球温暖化問題が注目を集めるようになり、温室効果ガス削減に向けた取り組みの一環として、エネルギー使用量が大幅に増加している業務部門（オフィス・店舗など）と家庭におけるエネルギー使用の合理化をより一層推進することを目的に、08年5月、省エネ法が改正されました。

#### 工場・事業所に係る改正のポイント

##### ①工場・事業所単位から企業単位へ

従来の省エネ法では規制対象は「工場・事業所単位」であり、一定規模以上の工場・事業所単位でのエネルギー使用の管理が求められていたのに対し、改正省エネ法では「事業者（企業）単位」での規制となり、企業全体（本社、工場、支店など含めて全て）でのエネルギー使用の管

理が求められるようになりました。

##### ②フランチャイズチェーン事業も規制

コンビニエンスストアなどのフランチャイズチェーン（＝「特定連鎖化事業者」と言います）も、そのフランチャイズ事業全体でのエネルギー使用の管理が求められます（管理を行なうのはフランチャイズ本部）。

#### 対象となる企業

改正省エネ法の規制対象になるのは、年間のエネルギー使用量が原油換算値で1,500kl以上となる企業およびフランチャイズチェーンです。経済産業省が示している一般的な目安は以下の通りです（表1）。

対象になる企業は、日本全体で約1万社に上ると予測されています。

表1 年間のエネルギー使用量が1,500kl以上となる企業の主な目安

|            |                    |
|------------|--------------------|
| 小売店舗       | 約3万㎡以上             |
| オフィス・事務所   | 電気使用量が約600万kWh/年以上 |
| ホテル        | 客室数300～400規模以上     |
| 病院         | 病床数500～600規模以上     |
| コンビニエンスストア | 30～40店舗以上          |
| ファーストフード店  | 25店舗以上             |

（出所）経済産業省「資源エネルギー庁資料」

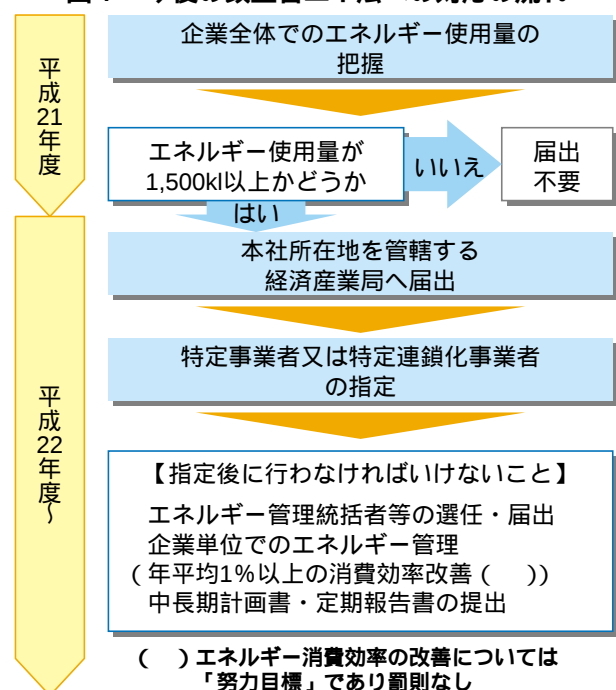
#### 今後の流れ

来年4月の改正省エネ法の施行に先立って、企業は今年4月から「企業全体のエネルギー使用量を把握する」ことが求められています。エネルギー使用量の合計が原油換算で1,500kl以上となる場合は、5月末（来年度は7月末）までに本社所在地域を管轄している経済産業局へ届出を行い「特定（連鎖化）事業者」の指定を受けなければなりません。届出を怠った場合や、虚偽の届出を行った場合は、50万円以下の罰金

が課せられます。

来年度以降、「特定(連鎖化)事業者」の指定を受けた企業は、エネルギー管理統括者等の選任・届出や、中長期計画書・定期報告書の提出、そしてエネルギー消費効率(原単位)を年平均1%以上改善していくことが求められます。なお、エネルギー消費効率の改善以外の対応を怠った場合は罰金が課せられます(図1)。

図1 今後の改正省エネ法への対応の流れ



(出所) 経済産業省 資源エネルギー庁資料などを基にふくおかフィナンシャルグループ作成

制度を紹介します。

## 省エネ診断サービス

省エネ活動の実施にあたり第一に取り組むことになるのは、自社のエネルギー使用量の把握です。しかし、実際に自社だけで把握するのは困難を伴います。効果的かつ効率的に自社のエネルギー使用量の現状を把握するためには、専門家による診断サービスを活用することが有効です。診断サービスの一例として、財団法人省エネルギーセンターによる「省エネルギー無料診断事業」があります。

省エネルギー無料診断事業とは、原則年間のエネルギー使用量が原油換算で100kl以上～3,000kl未満(100klの目安は年間のエネルギー使用料金が700～800万円程度)の工場・ビル等の事業所を対象に、事業所単位で専門家による省エネ診断を行なうものです。九州内だけでも年間数十件ほど実施されています。診断の結果報告書の中には、具体的な省エネ改善策と、それを実施した場合に期待できる省エネ効果まで提示されています。

省エネルギー無料診断事業に関するホームページ

工場：<http://www.eccj.or.jp/audit/fct3/index.html>

ビル：[http://www.eccj.or.jp/audit/buil\\_serv06/index.html](http://www.eccj.or.jp/audit/buil_serv06/index.html)

## 2. 省エネ活動促進のための各種制度

「エネルギー使用量が年間1,500kl以上」という、改正省エネ法の基準を満たす企業は、日本全体で1万社程度という数字からも分かります。そのため、一部の大手企業等にとどまります。そのため、多店舗展開を行なっている小売業者や大規模病院など一部を除いて、多くの中小企業には改正省エネ法による直接の影響は及ばないと思われます。ただし、政府は温室効果ガス削減のためには中小企業による省エネ活動も重要だと考えており、そうした活動を促進するための様々な制度を用意しています。以下、代表的な

## 取組み事例の公開

具体的にどのような省エネ活動に取り組むか検討する際には、他社の取組み事例やノウハウなどを参考にすると良いと思われます。実際、経済産業省が中小企業経営者1,000人を対象に昨年12月に実施したアンケートによると、中小企業が省エネに取り組むにあたって最も必要としている情報は「省エネルギー実践のためのノウハウ集」でした。

政府はそうしたノウハウ集を様々な形で公開しています(表2)。

表2 省エネに関する事例・ノウハウ集の例

|                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ■資源エネルギー庁「業界向け省エネルギー実施要領」                                                                                                                 |
| <a href="http://www.enecho.meti.go.jp/topics/080804/080804.htm">http://www.enecho.meti.go.jp/topics/080804/080804.htm</a>                 |
| ■財団法人省エネルギーセンター「省エネ技術データベース」                                                                                                              |
| <a href="http://eccj06.eccj.or.jp/spill/index.html">http://eccj06.eccj.or.jp/spill/index.html</a>                                         |
| ■近畿経済産業局「中小企業からの省エネの風」                                                                                                                    |
| <a href="http://www.kansai.meti.go.jp/3-9enetai/jirei-seeds/index.html">http://www.kansai.meti.go.jp/3-9enetai/jirei-seeds/index.html</a> |

(出所) 各種資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成

## 特別税制 / 補助金

従来、省エネ活動の中心は「お金をかけない省エネ(＝無駄な照明を消す等の日常での工夫)」が中心でしたが、これから効果的な省エネ活動のために必要になってくるのが、設備投資を伴う省エネ活動、つまり「省エネ投資」です。省エネ投資に対する優遇措置の代表的なものとして、エネルギー需給構造改革推進投資促進税制(略称：エネ革税制)があります。

エネ革税制とは、青色申告書を提出する法人又は個人が、省エネ設備等を取得し、かつ1年以内に事業の用に供した場合に

- ①普通償却に加えて基準取得価額(計算の基礎となる価額)の100%相当額を限度として償却できる特別償却

または

- ②基準取得価額の7%相当額の税額控除を受けることのできる制度です(ただし②は中小企業者等のみが利用可能です)。

特別税制以外にも、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「エネルギー使用合理化事業者支援事業(設備資金の1/3を補助)」など、様々な補助金が用意されています。

特別税制 / 補助金に関するホームページ  
<http://www.eccj.or.jp/promote/06/index.html>

## 国内クレジット制度 / ESCO

省エネ投資をより効果的に実施するために活

用できる制度として、国内クレジット制度やESCOがあります(両制度の内容については、小報2008年12月号に掲載していますので、本稿では概要のみ紹介します)。

国内クレジット制度は昨年秋より試行が始まった国内排出量取引における排出量削減方法の一つで、大企業の資金を活用して中小企業が省エネ投資を行なうものです。一方、ESCO(Energy Service Companyの略)は、省エネルギーに対する包括的なサービスを提供する事業のことです。両制度に共通する特徴は、「大企業、専門業者が有する豊富な資金やノウハウを自社の省エネ投資に活用することができる制度である」ということです(図2、3)。

政府は両制度に対して補助金などの支援策を充実させており、またより強制力がある方式で

図2 国内クレジット制度の概要

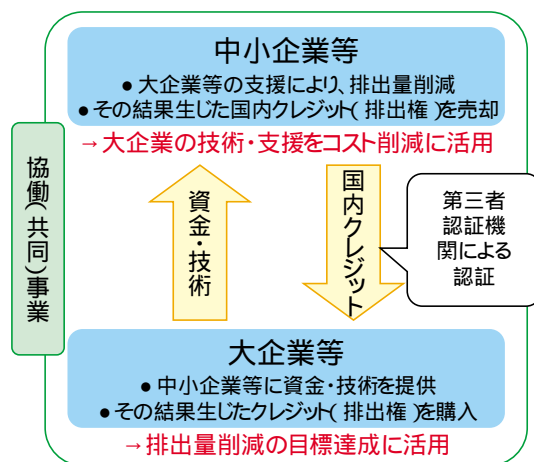
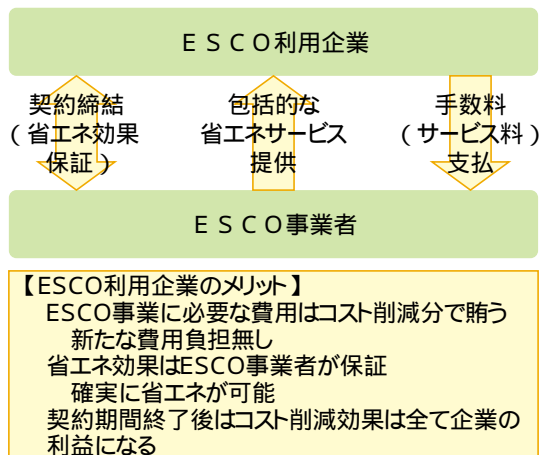


図3 ESCOの概要



(出所) 図2、3とも各種資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成

の国内排出量取引を導入する、という方針を打ち出していることから、今後両制度の利用拡大が期待されています。

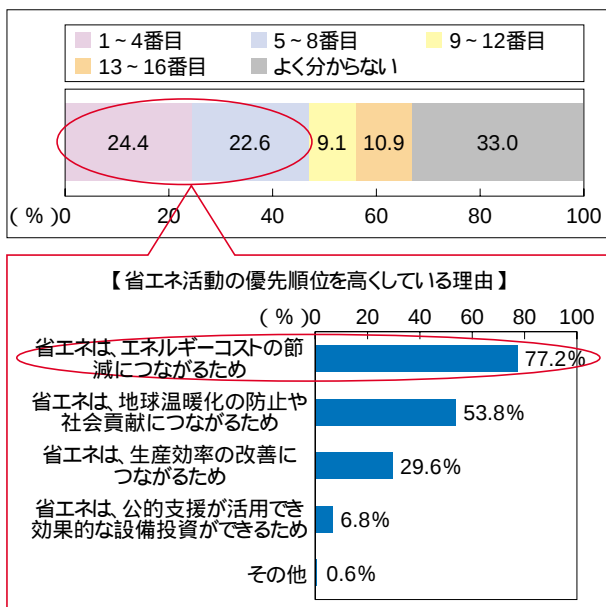
### 3. 省エネに対する企業の意識と事例

省エネ活動促進に向けては様々な制度が用意されていますが、実際、企業の経営者は省エネ活動に対してどのような意識を持っているのでしょうか。

前述の経済産業省が実施した中小企業経営者へのアンケートによると、全体の約5割が省エネ対策、燃料高対応を主要な経営課題として掲げています。そしてその理由の8割が「エネルギーコストの節減につながるため」と回答しています(図4)。

こうしたアンケートからも分かるとおり、企

図4 向こう3年程度の視点で経営を考える際に、以下にあげる16の経営課題のうち、「省エネルギー対策、燃料高対応」の優先順位



#### 【16の経営課題】

|              |                  |                    |            |
|--------------|------------------|--------------------|------------|
| ① 新技術・新商品の開発 | ② 生産コストの削減・圧縮    | ③ 販路・市場の拡大やマーケティング | ④ 情報化への対応  |
| ⑤ 国際化への対応    | ⑥ 人材の確保・育成       | ⑦ 後継者の確保・育成        | ⑧ 経営組織の見直し |
| ⑨ 知的財産の管理と活用 | ⑩ 資金調達の円滑化       | ⑪ 外部経営資源の活用        | ⑫ 法規制への対応  |
| ⑬ 地球環境への対応   | ⑭ 省エネルギー対策、燃料高対応 | ⑮ 原材料高への対応         | ⑯ 新分野への進出  |

(出所) 省エネ化と「省エネ産業」の展開に関する研究会「省エネ化と「省エネ産業」の展開について」(09年3月)

(注) 上記研究会は資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部長の私的研究会

業にとって省エネ活動を行なう最も大きな動機は「コスト削減効果が期待できるため」と言うことができます。具体的には、省エネ活動を通して、

①エネルギー使用量削減

②社内での業務の無駄の発見と削減(=業務の効率化)

という2つの側面でのコスト削減効果が期待できます。

### 企業の取り組み事例：東建工業株式会社

当社(本社：福岡県久留米市)は、主に建築・土木・不動産や産業廃棄物処理業、環境デューデリジェンス等を手がけている企業です。環境認証(エコアクション21)の取得に向けた取り組みの一環として、省エネ活動に着手しています。

省エネ活動の実施にあたり、最初に重視したことは「従業員の意識付け」と「ムリ・ムダ・ムラをなくすこと」です。具体的には、毎月の電気使用量のグラフを掲示する「見える化運動」や、ゴミの分別を通して従業員の意識付けに取り組んだほか、事務所内の照明の工夫(ダミー管や反射板の設置)や無駄な残業の廃止、作業の効率化、そして工場で使用している機械類のこまめなメンテナンスや電源のオン・オフなど「お金をかけない形」で省エネ活動に取り組んでいます(図5)。

図5 「見える化」とゴミの分別の様子



(出所) 東建工業提供

活動の結果、当社では電気使用量を前年比で35.4%削減することに成功しています。2年目以降は「削減したコストで賄える範囲」での新たな省エネ設備の導入により、更なる省エネ活動に取り組んでいます。

当社の取り組みは平成19年度の福岡県エコ事業所登録事業所の電気使用量削減部門で最優秀賞を受賞するなど、高い評価を受けています。その結果、企業価値が高まり、新たな受注獲得に繋がっているほか、これまで蓄積してきたノウハウを活かして、温室効果ガスなど、環境問題の「見える化」を支援する事業に取り組むなど、当社の取り組みは事業拡大にも貢献しています。

エコアクション21  
環境省が創設した中小企業向け環境認証・登録制度

## 4. 省エネ活動拡大がもたらす効果

### ～省エネビジネス拡大の可能性について

これまでは主に「省エネ活動を実施する側」に立って制度や事例の紹介等を行なってきましたが、最後に、そうした企業の省エネ活動拡大がもたらすと期待される、「省エネビジネス」拡大の可能性について考察します。

省エネビジネスとは企業の省エネ活動のサポートをビジネスとして取り組む事業のことであり、代表的なものとしてESCOという省エネサービスが挙げられます。ただ、省エネビジネスはそれだけにとどまらず、LED照明などの省エネに貢献する機器の製造・販売やそうした機器のリースなども含めた幅広い領域に広がっています。

こうした省エネビジネスに関わる企業は、従来省エネ活動に積極的に取り組んできたのが大企業中心だったということもあり、一部の電機メーカーなどにとどまっています。しかし、今後省エネ活動の裾野が地場中小企業にまで広がっていくにつれ、省エネビジネス自体の裾野も拡大していくことが期待されます。一件あたり

の金額は小さいものの、裾野は広い地場企業の省エネ活動を通して発生するビジネスチャンスは、地場企業が強みを発揮できる領域だということもできます。

将来的には、地域での取り組みで蓄積したノウハウを活かして海外、特に近年省エネを始めとした環境ビジネスへの需要が高まっている中国での事業拡大の可能性もあります。海外展開にあたっては制度面や価格面など様々な課題もありますが、九州には「市場との近接性」や、北九州市や九州環境・リサイクル産業プラザ(九州経済産業局の全面的なサポートの下で九州の環境ビジネス振興に取り組む団体)などを中心にこれまで様々な形で交流を持ってきた「実績」という強みがあります。こうした強みを活用することで、地場企業の省エネビジネスは国内だけにとどまらず海外でも拡大していく可能性を秘めています。

## 最後に

現在の厳しい経済環境下では、省エネ活動、特に省エネ投資に対する優先度が低くなっている企業が多数を占めているのが実情だと思われます。しかし、企業にとって省エネ活動とは、地球温暖化対策という意味以上に「コスト削減」という観点から重要な取り組みです。省エネ活動を促進する制度が充実している今だからこそ、そうした制度を活用することで、より効果的な省エネ活動を実施し、強固な企業体質を構築することが可能となるのではないのでしょうか。

ふくおかフィナンシャルグループでは、そうした企業の皆様の取り組みを、資金面だけでなく、情報提供や省エネ活動のサポートを行なう企業のご紹介などといった面からもサポートし、コスト削減を通じた経営改善に寄与するとともに、九州の省エネビジネスの発展に寄与するための取り組みを進めてまいります。

(花谷禎昭)



しーず君

## 微生物を使った環境モニタリング用 バイオセンサーシステムの開発

福岡工業大学 工学部生命環境科学科 かわかみみつやす 川上満泰 教授



環境問題への関心が高まる中、水環境についても、“環境負荷有機物”と呼ばれる水中有毒有機物に関する研究が進んでいます。その環境負荷有機物の一つに、近年海洋投棄が禁止された“焼酎蒸留廃液”があります。今回は、特定の有機物を好む微生物を活用した、この廃液浄化やその測定など、環境モニタリング技術に関する研究をご紹介します。



先生の自己紹介をお願いします！

**先生** 大学では、微生物や酵素の持つ機能を電極反応と組み合わせることにより、高性能な環境汚染物質除去技術や環境モニタリング技術の開発に関する研究を行なっています。



どんな研究ですか？

**先生** 環境負荷有機物の一つとされる“焼酎蒸留廃液”は、強い酸性で、粘度が高く、特有の臭気を持つことから適切な処理を行って有機物濃度を法定基準以下に低下させる必要があります。このときに必要になるのが有機物濃度をモニタリングする技術です。

測定にはBOD(生物化学的酸素要求量)という指標を使います。BODとは、「微生物が水中の有機物を分解する時に消費する酸素の量」のことです。この酸素の使用量を測定することで、水環境の有機汚濁を測定するわけです。焼酎蒸留廃液の場合、焼酎廃液の分解が得意な微生物【焼酎廃液資化(=分解)菌】を用います(図1)。



【図1】焼酎廃液資化(=分解)菌

検出については、取扱いが容易な電極反応を組み合わせ、従来手法と比較して、簡便化、時間短縮、測定精度に優れたフローインジェクションと呼ばれる方式を採用しています。



この技術の優れているところは？

**先生** これまで水環境の有機汚濁を測定する方法として、工場排水試験方法に規定される“5日間法”や、微生物電極によるBOD計測器に規定される“バイオセンサー方式”が使われてきました。しかし、いずれの場合も以下のような課題があります。

- ① 測定に用いる微生物によって代謝されにくい物質は測定できないこと
- ② 代謝活性を低下させる物質が含まれていると実際よりも低いBOD値になること

これを簡便に測定できる方法として、対象となる検体(廃液等)に有効に働く、特定の微生物の資化(=分解)速度による測定技術の研究に成功しました。



企業の皆さんに一言！

**先生** 各種有機物含有廃液のBOD評価システムの実用化を目指しています。この共同研究に関心のある企業様がいらっしゃいましたら、是非、お問い合わせください。

### 《お問合せ先》

(株)FFGビジネスコンサルティング

担当：今泉 TEL 092-723-2244 FAX 092-713-6486

## 中小企業経営者のための「事業承継セミナー」開催

高度経済成長期に創業した中小企業の経営者が高齢化し、世代交代期を迎えています。一方で、少子化や厳しい経営環境から後継者難の企業が増加しているという状況を受けて、総合的な支援を目的に2008年5月、「中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律（中小企業経営承継円滑化法）<sup>1</sup>」が成立しました。

中小企業にとって円滑な事業承継は大きな経営課題であることから、ふくおかフィナンシャルグループでは、今年10月に福岡、北九州、熊本、長崎の各地で「事業承継セミナー」を開催致しました。本稿では、多くの参加者からご好評いただいたセミナーの一部をご紹介します。

### 「事業そのものの継承」と 「事業承継計画の早期策定」が ポイント

セミナーの第一部では、経営コンサルティング会社であるトーマツコンサルティング株式会社の藤嶋氏から円滑な事業承継のポイントを説明いただきました。

「今までの事業承継は、節税対策を主眼に置いたものが多かった。しかし、これからの事業承継は価値のある事業を如何にして次世代に残すかがポイントです」と中小企業経営承継円滑化法の施行後、事業承継のポイントが「自社株対策」から「事業そのものの継承」に変わってきていることを指摘。さらに、親子間の事業承継では、「一緒に現在の事業を分析し、事

業の強み・弱みを共有化したうえで、いつまでに・どのような形で事業承継を行うかを早期に決定することが重要」と解説いただきました。

### 事業承継を実践された 社長の体験談

第二部は、実際に事業承継を経験された五洋食品産業株式会社の舩田社長と三原機工株式会社の中村社長に加え、講師の藤嶋氏、FFG各行の営業担当部署の行員等がパネラーとなり、それぞれの立

場から見た事業承継についてパネルディスカッションを行いました。

五洋食品産業株式会社（福岡市博多区）は、業暦31年の冷凍洋菓子メーカーです。前社長の体調不良から事前の準備もなく事業を引き継ぐことになった舩田社長からは、「会社の実情もあまり詳しくない中で事業を継承しなければならず、組織運営上の人事面や資金調達などの財務面で大変苦労しました」と事業承継の難しさを数々の実体験を踏まえ紹介いただきました。

#### ■セミナー概要

| テ ー マ         | 中小企業経営者のための事業承継セミナー                                                                                                                                                                                                             |                                  |              |                                  |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|--------------|----------------------------------|
| 開催地区<br>開 催 日 | 福岡地区<br>北九州地区                                                                                                                                                                                                                   | 平成21年10月19日(月)<br>平成21年10月23日(金) | 熊本地区<br>長崎地区 | 平成21年10月20日(火)<br>平成21年10月27日(火) |
| プログラム         | <b>【第1部】</b><br>講演「経営の原理原則を実践して適切・円滑な事業承継を」<br>講師：トーマツコンサルティング株式会社 パートナー 藤嶋誠三氏<br><b>【第二部】</b><br>パネルディスカッション「事業承継を実践された社長の体験談」<br>パネラー<br>五洋食品産業株式会社 代表取締役社長 舩田圭良氏<br>三原機工株式会社 代表取締役社長 中村 學氏<br>トーマツコンサルティング株式会社 パートナー 藤嶋誠三氏 他 |                                  |              |                                  |
| 主 催           | ふくおかフィナンシャルグループ、福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行、FFG ビジネスコンサルティング、福岡中央銀行（福岡地区、北九州地区のみ）、日本プライベートエクイティ、福岡キャピタルパートナーズ                                                                                                                           |                                  |              |                                  |
| 後 援           | FFG 経営者クラブ、独立行政法人中小企業基盤整備機構九州支部                                                                                                                                                                                                 |                                  |              |                                  |
| 来場者数          | 総計168名(4地区合計)                                                                                                                                                                                                                   |                                  |              |                                  |



セミナー風景

講師：トーマツコンサルティング株式会社藤嶋氏

1 中小企業経営承継円滑化法

事業承継問題で廃業を余儀なくされている中小企業が増加していることから、総合的に支援する法律として2008年に制定された。①民法の遺留分に関する特例 ②相続税の納税猶予制度 ③事業承継時の金融支援制度 の3つからなる。

事業承継時の障壁を乗り越えながらも、当社は内部管理体制の確立のため、ISO9001やISO27001を取得しました。また、商品の品質向上のため九州大学との連携によるコラボ商品を開発、さらに高いレベルの生産管理のため、新工場（前原市）の建設を進めています。成長を続けている当社は、まさに事業承継を契機に企業価値を高めた事例と言えます。

学校向け机椅子の老舗メーカーとして高い評価を得ている三原機工株式会社（福岡県久留米市）は、事業承継ファンドを活用し事業承継を行いました。「後継者不在の中、外部から社長として就任し、まず企業価値の維持と向上のための組織づくりに注力しました」と組織づくりにおける人材育成の重要性を中村社長からお話いただきました。

当社は、事業承継ファンドの活用により、評価の高い事業の継続と地域雇用の維持が図られ、ファンド・社員・取引先が一体となって事業価値を高めていく「九州リレーションシップ1号ファンド」の第1号事例です。

事業承継ファンドは、他のファンドと違い投資リターンの追求が第一義ではなく、地域経済の活性化や雇用の確保を重視しています。現在、後継者不在の中小企業において事業承継ファンドを活用することで経営資源を最大限に活かし



ディスカッション風景 五洋食品産業株式会社 舩田社長（左から3番目）  
三原機工株式会社 中村社長（左から2番目）

ながら、事業を次の世代へと承継する手段として注目度が増しています。

中小企業白書（2006年版）によれば、事業継続を検討している先のうち「後継者を決めている」は44.0%、「決めてはいないが候補者がいる」は37.1%、「適当な候補者がいない」が18.9%となっています。また、「後継者を決めている」企業の約8割が、事前の準備が不十分と回答しています。

参加者からは「通常のセミナーと比べ、実体験に基づいた内容で興味深かった」、「なかなか他人には聞きにくい部分も多く聞くことができ、大変参考になった」、「今回のセミナーは事業承継を考えるきっかけとなった」などのご意見が多数ありました。

#### FFGの事業承継に対する取り組み

事業承継の問題は、経営権の承継と資産の承継という2つの側面を持ち、財務面・法務面・税務面

などの様々な知識が必要であることから、経営者独自で解決するには限界があります。

ふくおかフィナンシャルグループでは、地域経済の活性化のため中小企業の事業承継支援に取り組んでおり、特に福岡銀行ソリューション営業部には専担グループを置き、事業承継に精通した外部専門家とも連携して、お客様の事業承継ニーズに素早く対応できる態勢を整えています。

パネラーとして参加した同行ソリューション営業部コンサルティング金融室の平田室長は「事業承継は10社あれば10社それぞれの事業承継があります。福岡銀行では皆様のニーズにマッチしたオーダーメイドのご提案をさせていただいております」と補足しました。

今後とも、ふくおかフィナンシャルグループでは、お客様のご要望・ご期待にお応えするセミナーや交流会の開催など情報発信に努めてまいります。

（稲葉 修一）

## 福岡銀行本店営業部 リニューアルオープン！

福岡銀行は平成21年10月19日に本店営業部をリニューアルオープンいたしました。

平日・土曜日とも17時まで営業するとともに、新たにコーヒーショップを併設するなど、より便利に、快適にご利用いただけるようになりました。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。



個人のお客様相談窓口(1階)

### リニューアル後のフロアレイアウト

1階は個人のお客様専用の「本店コンサルティングフロア」とし、「外貨両替」「個人のお客様預金窓口」「個人のお客様相談窓口」を設置しています。

「個人のお客様相談窓口」には専門知識の豊富な行員を配置するとともに、従来の平日時間外営業に加え、土曜日営業を開始し、予約制による投資信託、住宅ローン等のご相談を承っています。

なし」でお迎えすることを目的に、1階フロアに「フロアアテンダント」を配置しています。次に、コーヒーショップ「カフェファディ」を併設し、コーヒーを飲みながら待ち時間を過ごせるなど、お客さまに心地よい空間をご提供しています。

### セミナールームの新設

また、4階フロアに「セミナールーム」を新設し、「2010年の投

資戦略」や「マイホーム購入の第一歩」などお金や住宅についてのテーマはもちろん、「旅行」や「美容」などの趣味に関するものまで幅広いテーマのセミナーを実施しております。

電話のほかに福岡銀行のHPからもお申し込みいただけます。先着順ですので、お早めにお申込ください。

皆様のお越しをお待ちしております。

### 新しい取組み

1階の「本店コンサルティングフロア」ではF F Gグループ初となる各種取組みを実施しております。

まず、お客様を「最高のおもて

| 営業内容      | 平 日        | 土曜日             | 場 所           |
|-----------|------------|-----------------|---------------|
| 入出金のお取引   | 9:00～15:00 | —               | 1階フロア         |
| 資産運用のご相談  | 9:00～17:00 | 予約制 10:00～17:00 | 1階フロア         |
| 外貨両替      | 9:00～17:00 | —               | 1階フロア         |
| 貸金庫       | 9:00～17:00 | 10:00～17:00     | 中2階           |
| 住宅ローンのご相談 | 9:00～17:00 | 10:00～17:00     | 2階フロア(土曜日は1階) |

### 福岡銀行本店ビルフロア配置(1F～4F)

| Floor | フロア   | セミナールーム / プライベートバンキングフロア                              |               |
|-------|-------|-------------------------------------------------------|---------------|
| 4F    |       | セミナールーム / プライベートバンキングフロア                              |               |
| 3F    | 本店営業部 | コーポレート営業部                                             |               |
| 2F    |       | リテール営業部                                               | 前田証券<br>天神営業部 |
| 1F    |       | 福岡ローンセンター / 振込・税金・法人預金窓口<br>コンサルティングフロア (個人預金・個人相談窓口) |               |



コーヒーショップの併設(1階)

### 【お問合せ先】

福岡銀行 本店営業部

福岡市中央区天神 2 - 13 - 1

TEL : 092 - 723 - 2131(代表)

H P : <http://www.fukuokabank.co.jp/>

## REPORT

## 中国の百貨店、スーパー事情

## はじめに

近年、二桁近くの経済成長(2009年はGDP 8%増を見込む)を続ける中国では、消費水準の向上に伴い百貨店・スーパーの売上が急激に増加しています。04年に「外商投資商業領域管理弁法」が発表され、外資小売企業の独資(100%外国資本)での市場参入が認められたこともあり、外資百貨店・スーパーの参入が増加し中国市場でのシェアも高まっています。

しかし、日系百貨店については過去中国への海外展開の失敗の経緯もあり、中国での事業展開はあまり進んでいません。日本の百貨店など小売業界の低迷状態と中国市場の成長性を踏まえれば、今後、日本の小売業による中国への新規進出や事業拡大が着実に進むものと考えられます。

今回はこれらの動きを踏まえ、中国の百貨店・スーパー業界の動向についてレポートします。

## 1. 中国百貨店、スーパー業界の規制緩和の変遷

中国小売業界は90年代に入るまで商品流通経路の基幹部分を国営もしくは準国営企業が担っており、なかでも国営百貨店が国の配給機関として物価安定と商品の安定供給についての中心的役割を果たしていました。外資企業との競合がなく、国の政策によって保護されてきたこともあり、百貨店は都市中心部の好立地へ出店できるなど条件面で優遇されていました。

1992年には、外資への市場解放の一環で、進出地域を北京、上海、天津、広州、大連、青島

及び5つの経済特区に限定し、また各地域1~2社に限って、中国地場企業との合併もしくは提携による参入が試験的に認められるようになりました。これにより、外資企業の参入申請が相次ぎ、百貨店やスーパーなど20社が合併企業の設立認可(小売業)を受けました。

世界第2位の規模を誇るフランス資本のスーパーマーケットであるカルフルも、95年に中国企業との合併により上海に進出し、それから10年以内に30近くの都市に70店舗を出店し、現在、170億元(2,300億円)以上を売上げています。

しかし、90年代の外資企業の認可条件は厳しく、独資で参入することができないうえ、さらに商品の年間輸入額が制限されるなど厳しい規制がありました。

ところが、2001年に中国がWTOに加盟し、3年後の04年に「外商投資商業領域管理弁法」が発表されたことにより、外資の出資制限、地域制限、数量制限(会社数、店舗数)等が撤廃され、中国小売業は外資に全面開放されました。現在では台湾・香港・マカオ企業を除き400社程度の外資企業が中国に進出し、小売企業全体



上海市内の百貨店

(約27千社)の約15%を占めるまでになっています。

## 2. 百貨店、スーパーを取り巻く環境

### ① 中国の所得水準

中国当局の統計によれば、中国がWTOに加盟する前年、2000年の都市住民(都市戸籍を持つ住民)の可処分所得は平均6,280円で、うち上位10%の平均は1万3,311元となっています。これが08年になると、全体の平均が1万5,781元(00年比151.3%増)に上昇し、9年前の上位10%の所得水準さえも上回っています。このように中国の購買力は極めて早いペースで伸びており、富裕層のみならず中間所得層も急速に厚みを増してきています。もちろん地域格差の問題はあるものの、現在の中国の状況と、高度成長期後の日本の消費水準が80年代以降も上昇を続けたことを勘案すれば、中国における消費水準も、今後しばらくは上昇を続けると考えられます。

中国が所得水準の上昇とともに、販売市場としての魅力を増すなかで、日本企業においても、自らが得意とする高付加価値商品・サービス市場拡大の場として、中国市場へ大きな期待を寄せています。

また、日本企業においては、中国が所得水準の上昇とともに販売市場としての魅力を増してきているなかで、得意とする高付加価値商品・サービス市場拡大の場として、中国へ大きな期待を寄せるのは当然のことと思われます。

### ② 百貨店、スーパー市場の動向

中国でチェーン展開する百貨店、スーパーの小売売上高(08年)はそれぞれ1,943億元(29

兆円、前年比19.6%増)、3,736億元(5.6兆円、前年比18.1%増)と、03年以降ほぼ二桁の増加を維持しています。この要因としては、近年の経済成長に伴う所得水準の向上によって、衣料品、化粧品、宝飾品などの小売売上高が拡大したためと考えられています。

このように百貨店、スーパーが小売市場で売上高を年々伸ばしているのは、所得水準の向上に加えて、中国人の余暇の過ごし方の変化にも理由があると思われます。最近、中国政府は上海ディズニーランドの建設を認可し、2014年に開業する見通しとなりました。中国では大都市といえどもテーマパークや映画館などの娯楽施設が少ないため、百貨店やショッピングセンター(スーパー)などが集まる繁華街で余暇を過ごすことが多く、そのことが百貨店、スーパーの売上増加に繋がっている一因と考えられています。

今後、一時的な景気減速により百貨店売上高も緩やかなものとなる可能性もありますが、現在の中国の上位所得者の消費水準が日本の70年代中頃の水準にあること、また今後の中国の消費水準が日本と同様に高まるであろうことなどから、中長期的に市場は拡大基調を辿るものと考えられています。

表1 百貨店・スーパーの売上高

|              | 2003  | 2004  | 2005  | 2006   | 2007   | 2008   |
|--------------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 百貨店売上高(億元)   | 597   | 930   | 1,275 | 1,482  | 1,625  | 1,943  |
| 小売売上高(チェーン店) | 3,464 | 6,163 | 8,570 | 10,765 | 11,683 | 14,370 |
| スーパー         | 1,610 | 1,948 | 2,629 | 2,838  | 3,164  | 3,736  |

(出所) 中華人民共和国国家統計局「中国統計年鑑」

### 3. 日系小売企業の進出動向

外資による対中直接投資の動きを業種別にみると、近年は製造業が減少を辿る一方で、卸・小売業は増加傾向にあります。

先程述べた中国の経済成長に伴う所得水準、消費水準の向上や04年の独資企業への市場全面開放に伴い、ウォルマート、カルフルー、メトロ、イオン等のグローバル外資小売企業をはじめとして内販目的の外資企業の進出が急増しています。日系企業についてみても、04年以降直近4年間で20社程度の日系小売企業が中国に進出しています。

しかし、日系百貨店は1980年代からヤオハン（中国初の外資小売企業）などが中国に進出しましたが、日本国内での本体の不振が直撃して事業撤退を余儀なくされた経緯がありました。現在、百貨店で事業を続けているのは伊勢丹と三越（小規模店）の2社、多店舗展開は伊勢丹のみとなっています。スーパーでは日系小売店としてイトーヨーカ堂やイオン（ジャスコ）などが中国にて事業展開しています。

現在、日本の大型小売店舗売上高は、08年8月以降14ヵ月連続で前年割れとなり、特に百貨店では長期低迷が続いています。ここ数年の中国の百貨店・スーパーを含めた小売市場の拡大基調を勘案すれば、今後、日系小売企業の中国進出意欲が再び高まる可能性は十分にあると思われます。

### 4. 最後に

上海の日系百貨店には、開業当初から所得の高い台湾、香港人の来店が多く（現在は高所得者の中国人の来店も増えている）、主に高級品

表2 08年上海市百貨店売上上位10

|    | 社名               | 売上(億元) |
|----|------------------|--------|
| 1  | 上海第一ヤオハン(旧ヤオハン)  | 32.03  |
| 2  | 上海新世界城           | 23.54  |
| 3  | 上海久光百貨店(旧そごう)    | 16.26  |
| 4  | 東方商厦             | 15.05  |
| 5  | 上海置地広場商厦         | 9.76   |
| 6  | 上海匯金百貨店          | 9.61   |
| 7  | 上海市第一百貨店         | 8.87   |
| 8  | 上海太平洋百貨店徐匯支店(台湾) | 7.64   |
| 9  | 上海太平洋百貨店淮海支店(台湾) | 7.21   |
| 10 | 上海百聯集團東方商厦南東支店   | 6.99   |

(出所)上海市商業情報センター

を取扱うイメージが定着しています。また、中国の流行の発信源は台湾や香港ですが、日本は台湾、香港の流行の源流であると認識されています。購買層の主力である若い女性には、メイドインチャイナは格好悪く、日本製品が揃う日系百貨店は、品物の価格は高いが高品質でお洒落であるとのイメージが強いようです。

このような中、高島屋は成長が続く中国市場を海外事業の収益の柱の1つとして考え、2012年に上海の高級住宅街に中国1号店を開業する予定となっています。同様に、既に中国に進出済みの三越伊勢丹も、さらに中国での大型百貨店の出店を検討しており、14年までに大型店舗を5店開業し、総店舗数を10店に増やすことを表明しています。

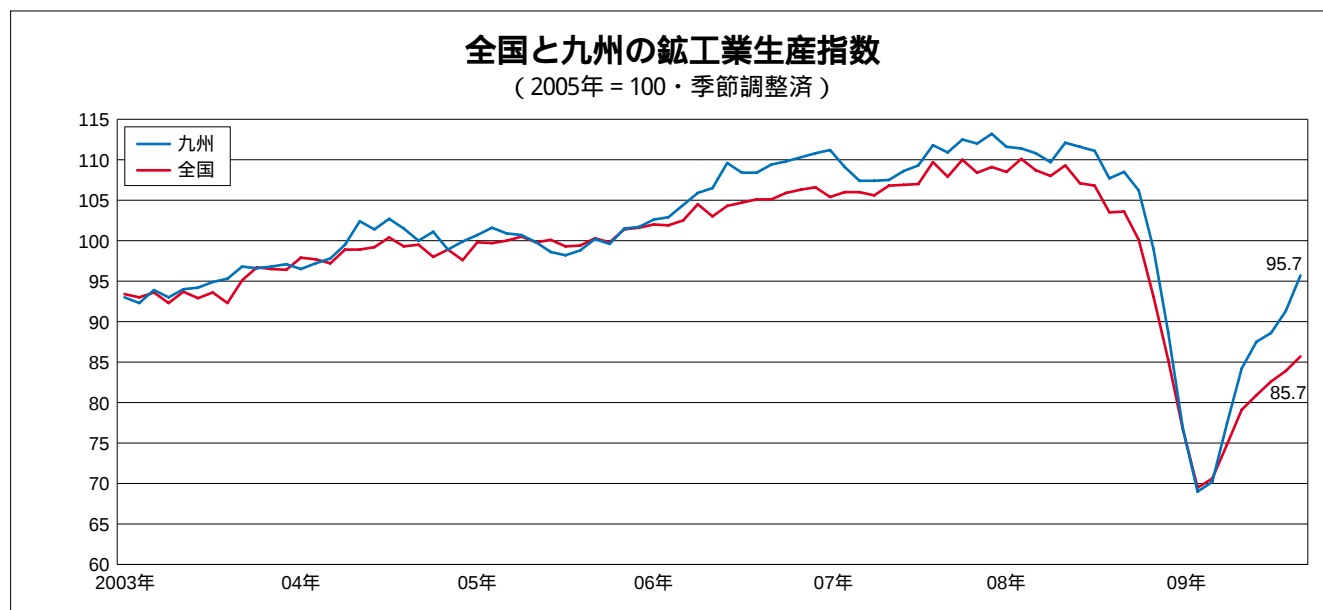
このように、中国の小売市場は今後も経済成長に伴う所得向上により、中長期的に拡大基調を辿るとみられており、日系百貨店・スーパーにとっても、今後のビジネスチャンスが十分に期待できる市場といえます。

(上海駐在員事務所 田中 正洋)

## 九州の鉱工業生産動向

### [ 基調判断 ].....在庫調整が進展しており、持ち直しで推移している

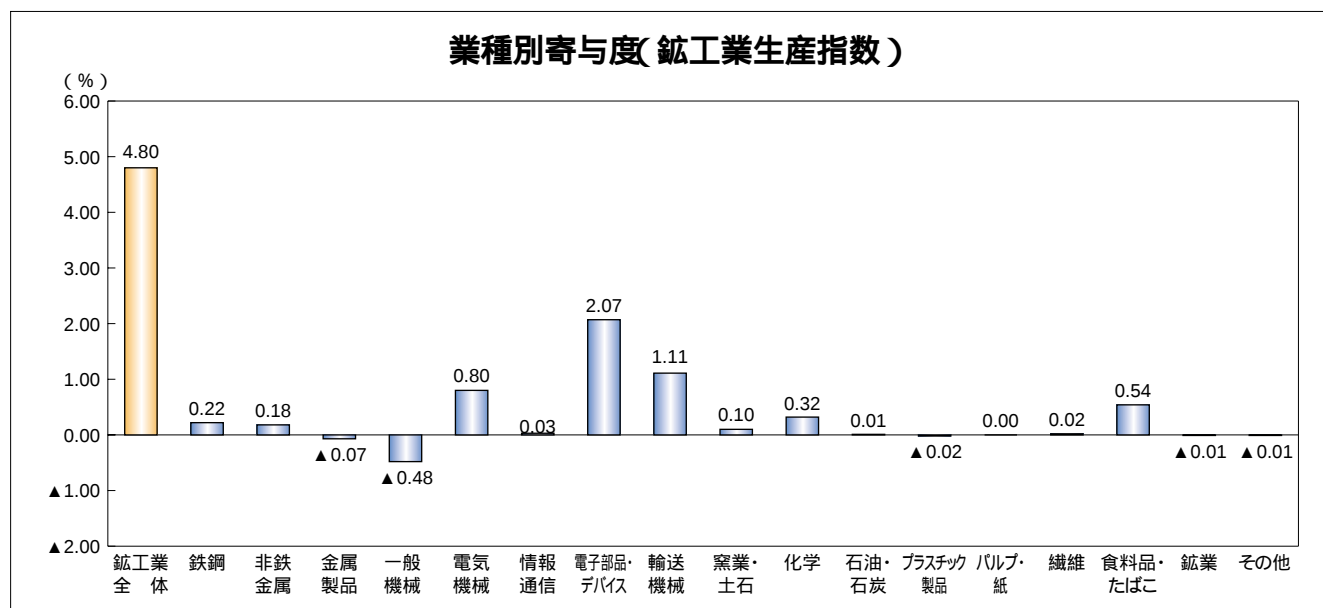
2009年9月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、半導体や自動車などの生産が改善し、前月比4.8%上昇し7ヵ月連続で前月実績を上回りました。九州地区の生産は在庫調整が進展しており、持ち直しで推移しています。



(出所)九州経済産業局

### [ 業種別動向 ].....電子部品・デバイス工業、輸送機械工業などで上昇

鉱工業生産指数の前月比4.8%上昇について業種別に寄与度を見ると、国内向けゲームや携帯電話、家電用の部品生産で伸びている電子部品・デバイス工業が、北米向け自動車輸出が持ち直している輸送機械工業などが大きく寄与しました。トータルでは全17業種中12業種でプラスとなりました。



(出所)九州経済産業局

### 福岡県の最近の経済動向

#### [ 福岡県の景気 ].....厳しい状況のなか、持ち直しに転じつつある

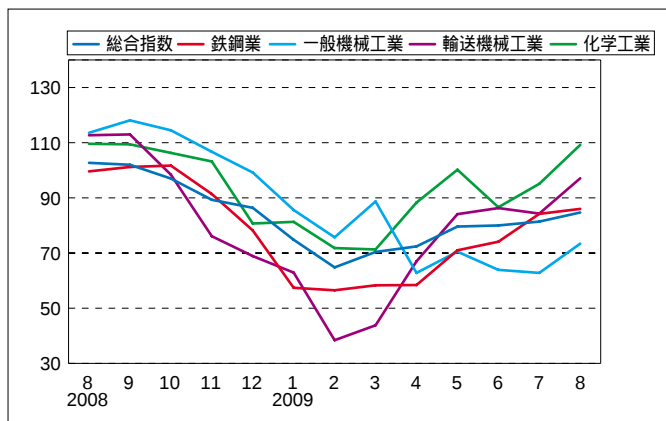
福岡県の景気は、生産活動の増加が持続しており、持ち直しに転じつつあります。

生産活動は、多くの業種で前年同期比プラスとなり、総合指数は6ヵ月連続で前月比上昇しました。また、公共投資も2ヵ月連続で前年を上回っています。一方、企業倒産は件数、負債総額ともに減少しています。

消費の面では、大型小売店販売額は前年を下回っているものの、前年比のマイナス幅は縮小しています。しかし、住宅投資では引き続き前年を大きく下回っています。

#### [ 生産活動 ].....総合指数は6ヵ月連続で上昇

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



(出所) 福岡県

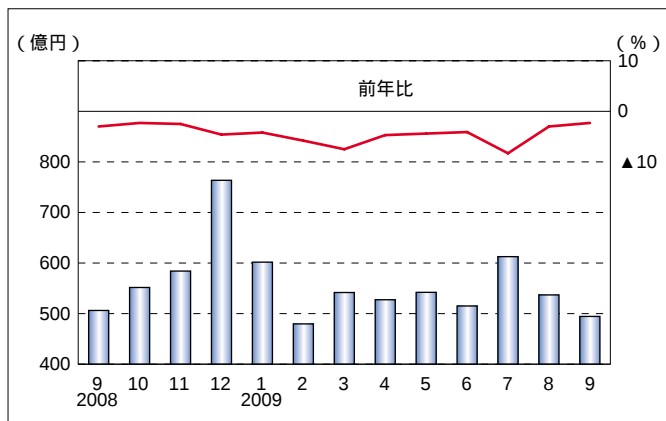
8月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は84.7と、前月比4.1%上昇しました。

総合指数の上昇は6ヵ月連続となり、生産活動は持ち直しの動きが継続しています。

主要業種はいずれも上昇しており、一般機械は前月比16.9%、輸送機械は同15.2%、化学は同14.8%、鉄鋼は同2.1%の上昇となりました。

#### [ 大型小売店 ].....百貨店は減少、スーパーは微増

福岡県の大型小売店販売額



(出所) 九州経済産業局

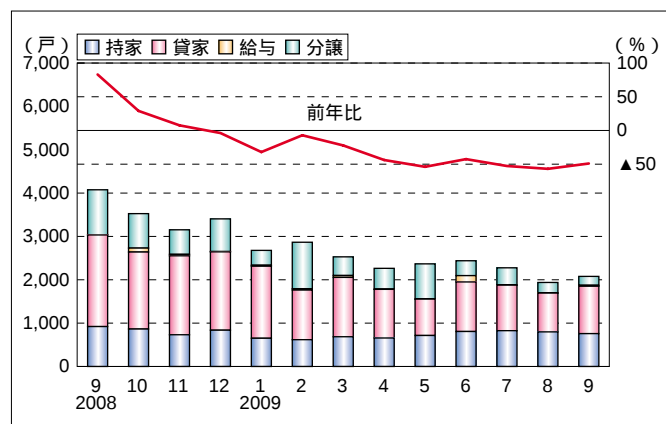
百貨店では、9月の大型連休による来店客増加が期待されたものの、主力の衣料品などが低迷し、全体では前年比7.1%減となりました。

一方スーパーでは、新規出店による売上増加が既存店の減収をカバーし、全体では前年比1.2%増加しました。

トータルでは前年比2.6%減の494億円となり、14ヵ月連続の減少となっていますが、マイナス幅は縮小しています。

### [ 住宅建設 ] ..... 貸家・分譲の減少が継続し10ヵ月連続の前年割れ

福岡県の新設住宅着工戸数



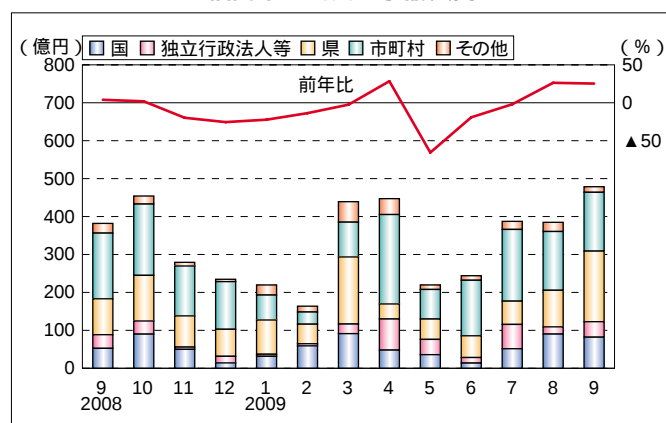
（出所）国土交通省

9月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比17.7%減の758戸、貸家で同48.3%減の1,093戸、分譲で同80.4%減の204戸となり、全体では同49.0%減の2,078戸となりました。

前年同月の着工件数と比較すると、貸家は10ヵ月連続減、分譲は7ヵ月連続減と減少傾向が続いています。全体でも、上半期（4～9月）の着工件数は前年同期比49.9%減の13,362戸とほぼ半減しており、不動産市況の低迷を反映した結果となっています。

### [ 公共工事 ] ..... 件数、請負金額ともに増加

福岡県の公共工事請負高



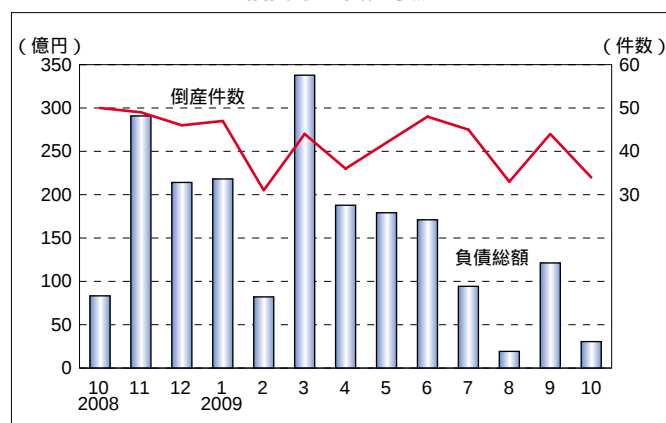
（出所）西日本建設業保証

9月の公共工事保証請負状況（保証ベース）は、件数が前年比42.2%増の1,213件、金額が同25.3%増の479億円と、追加経済対策の効果が表われ、2ヵ月連続で件数、請負金額ともに前年を上回りました。

福岡県の道路・河川関連工事の発注が集中したことなどから、「県」などで大きく増加しました。

### [ 企業倒産 ] ..... 倒産件数、負債総額ともに減少

福岡県の倒産状況



（出所）東京商工リサーチ

10月の福岡県の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年比32.0%減の34件となりました。また、負債総額も同63.3%減の31億円に減少し、単月では今年8月の19億円に次いで低い額となりました。

### 熊本県の最近の経済動向

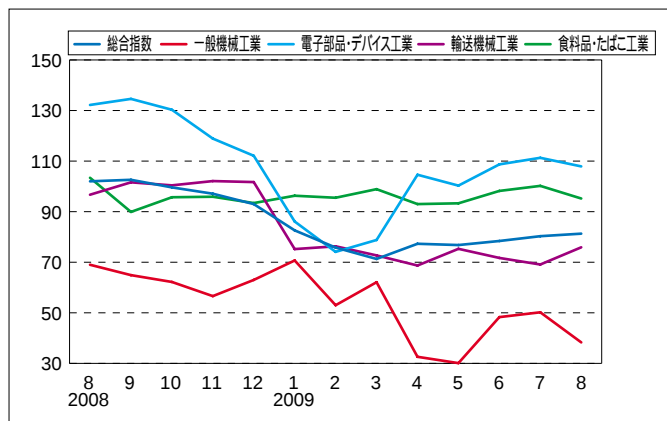
#### [ 熊本県の景気 ].....厳しい状況のなか、回復の動きが見られる

厳しい状況が続いていますが、生産活動などに回復の動きが見られます。

生産面では、輸送機械が上昇し、総合指数は前月比3ヵ月連続で上昇しました。また、公共工事の増加が景気を下支えするなか、企業倒産の負債総額は低水準で推移しています。一方、所得環境は依然厳しい状況が続いており、個人消費や住宅建設全体は低調な状態が続いています。

#### [ 生産活動 ].....輸送機械の増産により、総合指数は3ヵ月連続で上昇

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



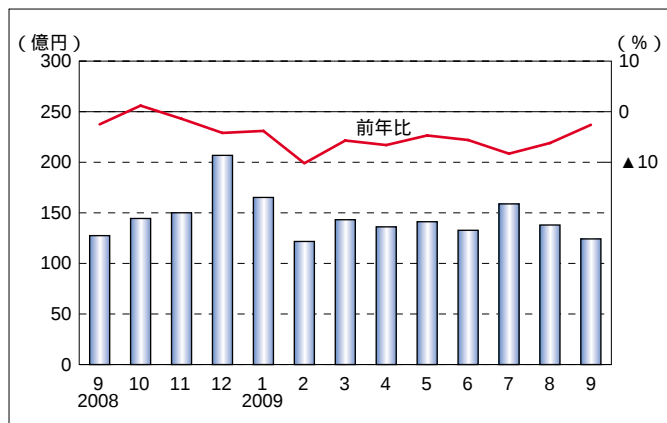
(出所)熊本県

8月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は81.3と前月比1.2%上昇しました。

一般機械や食料品・たばこ、電子部品・デバイス等は低下したものの、自動車など輸送機械の増産で、総合指数は3ヵ月連続で上昇しました。

#### [ 大型小売店 ].....減少続くも減少幅は2ヵ月連続で改善

熊本県の大型小売店販売額



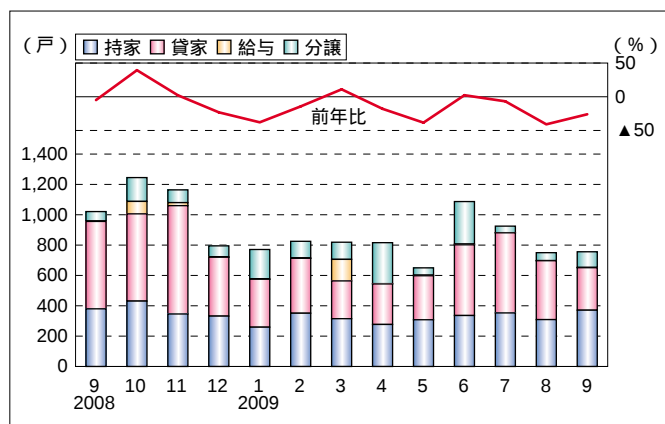
(出所)九州経済産業局

9月の県内大型小売店販売高は、前年比2.8%減の124億円と前年実績を下回りました。消費者の節約志向は依然として強いものの、減少幅は2ヵ月連続で改善しています。

エコポイント効果で家庭用電気機械器具は増加したものの、衣料品、飲食料品は減少し、全体でも前年比減少しました。

### [ 住宅建設 ].....貸家の低調などで前年比26.0%減

熊本県の新設住宅着工戸数



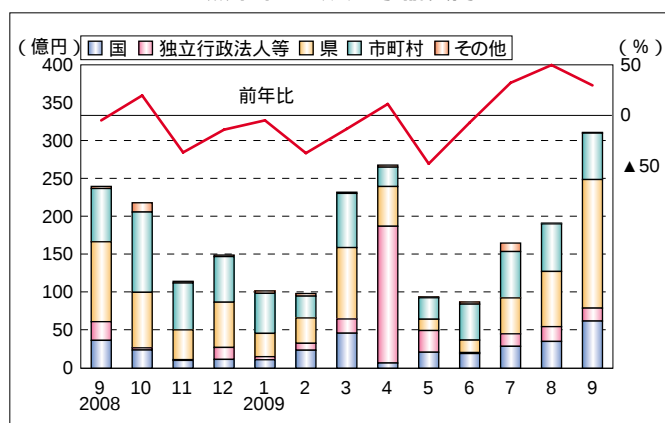
(出所)国土交通省

9月の新設住宅着工戸数は、全体では前年比26.0%減の756戸と、3ヵ月連続で前年を下回りました。

熊本市内のマンション着工などで、分譲は前年比63.5%増の103戸となりましたが、持家は同2.4%減の371戸、貸家は51.4%減の280戸と低調でした。

### [ 公共工事 ].....件数、請負金額ともに約3割の増加

熊本県の公共工事請負高



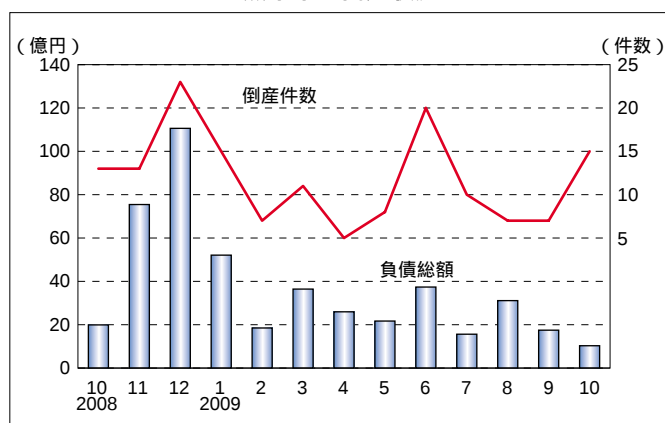
(出所)西日本建設業保証

9月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比34.4%増の937件、金額が同29.7%増の311億円と、件数、請負金額ともに前年の約3割増の規模になりました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は国立療養所整備などで前年比69.1%増加したほか、「県」では八代港整備など前倒し発注により同60.9%増加したために、前年実績を上回りました。

### [ 企業倒産 ].....件数は前年比2件増加するも、負債総額は低水準

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

10月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比15.4%増の15件、負債総額が同48.3%減の10億3,000万円となりました。

倒産件数は前年比2件増加しましたが、いずれも10億円以下の小口の倒産に留まり、負債総額も低水準です。

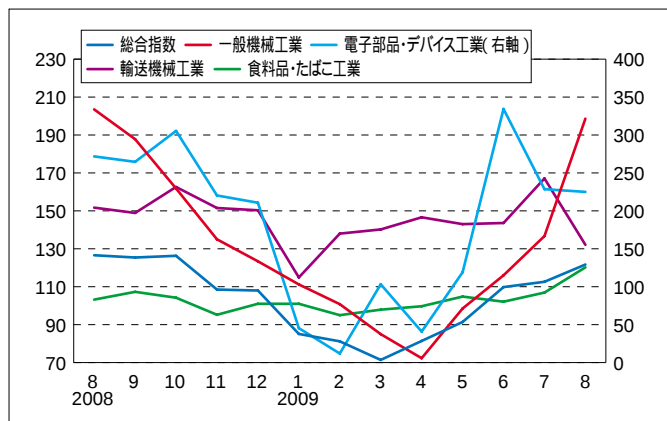
### 長崎県の最近の経済動向

#### [ 長崎県の景気 ].....厳しい状況が続いているが、持ち直しの動きがみられる

生産面では、輸送機械や電子部品・デバイスが低下したものの、一般機械などの上昇により鉱工業生産総合指数は5ヵ月連続で前月比プラスとなりました。大型小売店販売額は前年割れが続く、住宅投資の動きは弱いものの、公共工事は県や市町の前倒し発注に加えて国からの発注増で増加しています。また企業倒産件数は低水準ながら、負債総額は5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

#### [ 生産活動 ].....一般機械などが寄与し、総合指数は5ヵ月連続で上昇

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2000年=100)



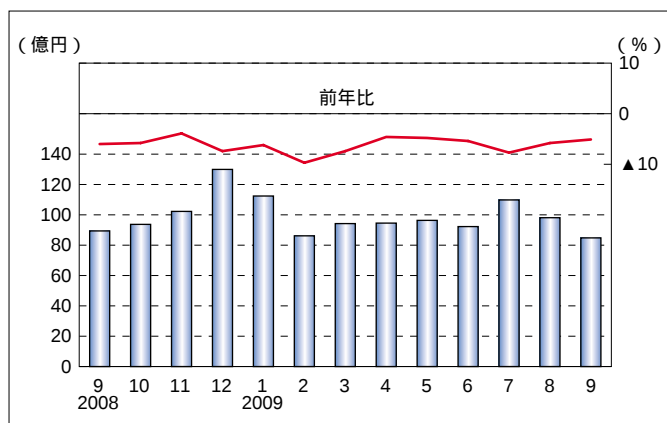
(出所)長崎県

8月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は前月比8.1%上昇し121.7となりました。

造船やシリコンウェハなどの減産で輸送機械や電子部品・デバイスは低下したものの、タービンやボイラの増産で一般機械が上昇し、総合指数は5ヵ月連続で上昇しました。

#### [ 大型小売店 ].....衣料品や高額商品の不振と、低価格化などで売上減少

長崎県の大型小売店販売額



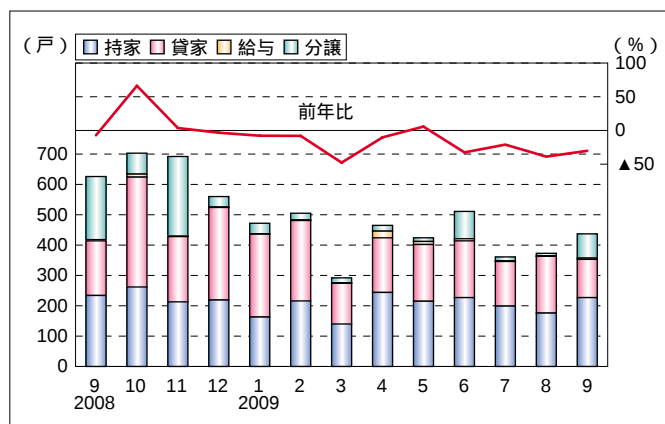
(出所)九州経済産業局

9月の県内大型小売店販売高は、依然減少が続いており、前年比5.0%減の85億円となりました。

消費者の節約意識は根強く、衣料品や高額商品の不振、商品の低価格化などで売上は減少しています。業態別では、百貨店は前年比5.0%減、スーパーは同5.1%減となっています。

### [ 住宅建設 ].....分譲住宅の減少などで前年比30.2%減

長崎県の新設住宅着工戸数

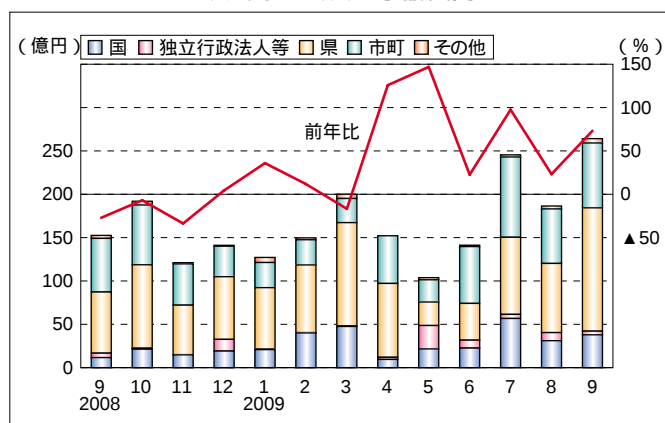


(出所)国土交通省

9月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比3.0%減の227戸、貸家では同30.0%減の126戸、分譲で同62.0%減の79戸となりました。雇用や所得環境の回復がみられないなか、特に分譲住宅の着工は前年比急減し、全体での実績も同30.2%減の437戸と、4ヵ月連続の減少となりました。

### [ 公共工事 ].....件数、請負金額とも前年比1.5倍超の増加

長崎県の公共工事請負高



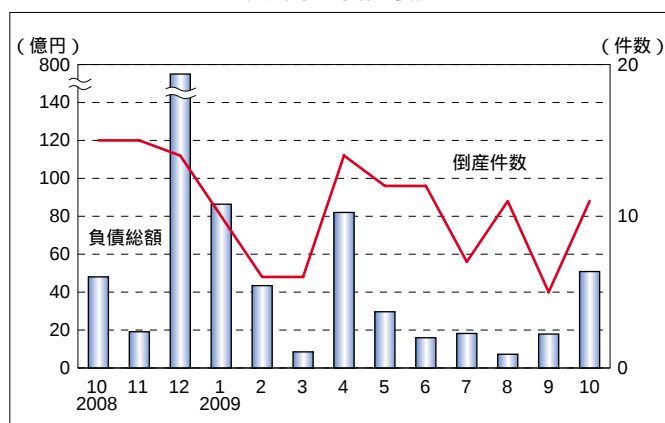
(出所)西日本建設業保証

9月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比63.4%増の688件、金額が同73.1%増の264億円と、件数、請負金額とも前年比1.5倍超増加しました。

発注者別の請負金額をみると、「国」では真申川橋、「県」では松浦高校新築、「市町」では奈留小中学校改築など、経済対策等により各種工事が前倒しで発注され、請負金額は増加しました。

### [ 企業倒産 ].....5ヵ月ぶりに負債総額は前年比増加

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

10月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比26.7%減の11件、負債総額が同5.9%増の50億8,600万円となりました。

5月以降、緊急融資制度の効果等により、企業倒産は沈静化していましたが、負債額10億円超の倒産が2件発生し、5ヵ月ぶりに負債総額は前年比増加しました。

# 経済指標 | 全国のデータ

| 項目<br>年月 | 鉱工業指数<br>(2005年 = 100) |        |       |        |       |        | 機械受注金額<br>(船舶・電力<br>を除く民需) | 貿易             |                | 公共工事<br>保証請負金額 |              | 建築着工統計<br>工事費予定額<br>(非居住用) |       |
|----------|------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|----------------------------|----------------|----------------|----------------|--------------|----------------------------|-------|
|          | 生産指数                   |        | 出荷指数  |        | 在庫指数  |        |                            | 輸出金額<br>前年比(%) | 輸入金額<br>前年比(%) | 億円<br>前年比(%)   | 億円<br>前年比(%) |                            |       |
|          | 季調値                    | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) |                            |                |                |                |              |                            |       |
| 2006年    | 104.5                  | 1.3    | 104.6 | 4.6    | 102.1 | 2.1    | 4.0                        | 14.6           | 18.3           | 120,859        | ▲9.2         | 99,994                     | 2.7   |
| 2007年    | 107.4                  | 2.8    | 107.8 | 3.1    | 103.9 | 1.7    | ▲4.0                       | 11.5           | 8.6            | 119,268        | ▲1.3         | 89,722                     | ▲10.3 |
| 2008年    | 103.8                  | ▲3.3   | 104.3 | ▲3.2   | 106.7 | 2.7    | ▲6.0                       | ▲3.5           | 8.0            | 115,901        | ▲2.8         | 99,741                     | 11.2  |
| 2008.8   | 103.5                  | ▲7.2   | 103.9 | ▲7.1   | 106.1 | 1.7    | ▲11.1                      | 0.2            | 17.1           | 9,253          | ▲6.0         | 9,133                      | 67.5  |
| 9        | 103.6                  | 0.4    | 104.0 | ▲0.5   | 107.7 | 3.1    | 3.8                        | 1.5            | 28.8           | 11,724         | 5.5          | 7,521                      | 66.4  |
| 10       | 100.1                  | ▲6.6   | 100.9 | ▲7.1   | 108.9 | 4.4    | ▲5.3                       | ▲7.9           | 7.4            | 11,697         | ▲0.4         | 8,466                      | 38.3  |
| 11       | 93.1                   | ▲16.5  | 93.6  | ▲17.0  | 109.5 | 4.3    | ▲12.2                      | ▲26.8          | ▲14.4          | 8,443          | ▲2.8         | 7,303                      | 2.6   |
| 12       | 85.3                   | ▲20.7  | 86.0  | ▲20.7  | 109.7 | 4.8    | ▲2.7                       | ▲35.0          | ▲21.5          | 7,850          | ▲6.4         | 8,815                      | 14.0  |
| 2009.1   | 76.7                   | ▲30.9  | 76.7  | ▲31.6  | 108.0 | 2.8    | ▲3.8                       | ▲45.7          | ▲31.9          | 6,019          | 1.9          | 7,649                      | 19.9  |
| 2        | 69.5                   | ▲38.4  | 72.0  | ▲36.7  | 103.5 | ▲1.7   | 0.6                        | ▲49.4          | ▲43.0          | 6,349          | ▲2.8         | 7,908                      | 29.2  |
| 3        | 70.6                   | ▲34.2  | 73.1  | ▲32.4  | 99.8  | ▲5.2   | ▲1.3                       | ▲45.5          | ▲36.6          | 15,969         | 15.3         | 6,571                      | ▲22.2 |
| 4        | 74.8                   | ▲30.7  | 75.3  | ▲30.7  | 97.1  | ▲7.2   | ▲5.4                       | ▲39.1          | ▲35.8          | 13,288         | 20.5         | 6,107                      | ▲24.8 |
| 5        | 79.1                   | ▲29.5  | 78.9  | ▲30.0  | 96.4  | ▲8.4   | ▲3.0                       | ▲40.9          | ▲42.4          | 7,866          | 2.5          | 5,289                      | ▲42.2 |
| 6        | 80.9                   | ▲23.5  | 81.7  | ▲22.6  | 95.3  | ▲10.3  | 9.7                        | ▲35.7          | ▲41.9          | 10,977         | 12.7         | 6,709                      | ▲20.4 |
| 7        | 82.6                   | ▲22.7  | 83.7  | ▲22.0  | 95.0  | ▲10.6  | ▲9.3                       | ▲36.5          | ▲40.8          | 12,511         | 2.5          | 7,547                      | ▲36.4 |
| 8        | 83.9                   | ▲19.0  | 84.2  | ▲19.0  | 95.1  | ▲10.3  | 0.5                        | ▲36.0          | ▲41.3          | 10,063         | 8.7          | 6,234                      | ▲31.7 |
| 9        | 85.1                   | ▲18.9  | 87.1  | ▲17.3  | 94.6  | ▲12.2  | 10.5                       | ▲30.6          | ▲36.9          | 14,314         | 22.1         | 5,054                      | ▲32.8 |
| 出所       | 経済産業省                  |        |       |        |       |        | 内閣府                        | 財務省            |                | 西日本建設業保証       |              | 国土交通省                      |       |

| 項目<br>年月 | 新設住宅着工戸数  |        |        |        |        | 企業物価指数<br>(2005年 = 100) |        | 消費者物価指数<br>(2005年 = 100) |        | 大型小売店<br>販売額 |        | 乗用車          |        |
|----------|-----------|--------|--------|--------|--------|-------------------------|--------|--------------------------|--------|--------------|--------|--------------|--------|
|          | 合計        |        | 持家     | 貸家     | 分譲     | 指数                      | 前年比(%) | 指数                       | 前年比(%) | 億円           | 前年比(%) | 乗用車新規登録台数    |        |
|          | 戸         | 前年比(%) | 前年比(%) | 前年比(%) | 前年比(%) |                         |        |                          |        |              |        | 台            | 前年比(%) |
| 2006年    | 1,290,391 | 4.4    | 1.5    | 7.8    | 2.7    | 102.2                   | 2.2    | 100.3                    | 0.3    | 211,450      | ▲0.9   | 3,126,249    | ▲6.8   |
| 2007年    | 1,060,741 | ▲17.8  | ▲12.2  | ▲18.7  | ▲22.3  | 104.0                   | 1.8    | 100.3                    | 0.0    | 211,988      | 0.3    | 2,945,668    | ▲5.8   |
| 2008年    | 1,093,485 | 3.1    | 1.2    | 5.2    | 1.8    | 108.8                   | 4.6    | 101.7                    | ▲0.3   | 209,511      | ▲1.2   | 2,793,626    | ▲5.2   |
| 2008.8   | 96,905    | 53.6   | 35.6   | 59.6   | 73.7   | 112.4                   | 7.5    | 102.7                    | 2.1    | 16,527       | ▲1.0   | 165,653      | ▲12.9  |
| 9        | 97,184    | 54.2   | 19.9   | 66.9   | 82.8   | 111.8                   | 7.0    | 102.7                    | 2.1    | 15,589       | ▲2.1   | 269,056      | ▲5.6   |
| 10       | 92,123    | 19.8   | ▲4.3   | 35.4   | 28.9   | 109.5                   | 4.5    | 102.6                    | 1.7    | 16,668       | ▲2.9   | 202,119      | ▲13.4  |
| 11       | 84,277    | 0.0    | ▲11.7  | 1.7    | 11.0   | 107.5                   | 2.4    | 101.7                    | 1.0    | 17,820       | ▲1.7   | 185,941      | ▲27.9  |
| 12       | 82,197    | ▲5.8   | ▲7.3   | ▲4.1   | ▲7.5   | 106.3                   | 0.9    | 101.3                    | 0.4    | 21,590       | ▲4.8   | 157,939      | ▲22.9  |
| 2009.1   | 70,688    | ▲18.7  | ▲10.8  | ▲18.4  | ▲26.4  | 104.7                   | ▲0.9   | 100.7                    | 0.0    | 18,069       | ▲3.8   | 153,273      | ▲28.0  |
| 2        | 62,303    | ▲24.9  | ▲9.9   | ▲28.5  | ▲34.4  | 104.2                   | ▲1.9   | 100.4                    | ▲0.1   | 14,497       | ▲6.7   | 193,398      | ▲32.2  |
| 3        | 66,628    | ▲20.7  | ▲13.1  | ▲11.2  | ▲42.1  | 103.9                   | ▲2.6   | 100.7                    | ▲0.3   | 16,514       | ▲6.7   | 285,640      | ▲31.0  |
| 4        | 66,198    | ▲32.4  | ▲15.8  | ▲33.0  | ▲54.3  | 103.3                   | ▲4.1   | 100.8                    | ▲0.1   | 15,960       | ▲5.0   | 146,229      | ▲27.2  |
| 5        | 62,805    | ▲30.8  | ▲14.9  | ▲33.3  | ▲48.1  | 102.8                   | ▲5.6   | 100.6                    | ▲1.1   | 16,185       | ▲4.5   | 159,410      | ▲16.2  |
| 6        | 68,268    | ▲32.4  | ▲10.5  | ▲38.4  | ▲50.0  | 102.5                   | ▲6.7   | 100.4                    | ▲1.8   | 16,029       | ▲5.2   | 219,506      | ▲9.4   |
| 7        | 65,974    | ▲32.1  | ▲12.2  | ▲36.0  | ▲50.1  | 102.9                   | ▲8.5   | 100.1                    | ▲2.2   | 17,360       | ▲7.0   | 265,811      | ▲0.5   |
| 8        | 59,749    | ▲38.3  | ▲20.0  | ▲42.2  | ▲53.5  | 102.9                   | ▲8.5   | 100.4                    | ▲2.2   | 15,696       | ▲5.0   | 179,581      | 8.4    |
| 9        | 61,181    | ▲37.0  | ▲19.7  | ▲39.0  | ▲52.5  | 103.0                   | ▲7.9   | 100.4                    | ▲2.2   | 14,936       | ▲4.2   | 293,705      | 9.2    |
| 出所       | 国土交通省     |        |        |        |        | 日本銀行                    |        | 総務省                      |        | 経済産業省        |        | 日本自動車販売協会連合会 |        |

| 項目<br>年月 | 乗用車         |       | 家計消費支出(勤労者世帯) |      |         |      | 有効求人<br>倍率 | 完全<br>失業率 | 倒産件数     |       | 預金残高   |      | 貸金残高   |     |
|----------|-------------|-------|---------------|------|---------|------|------------|-----------|----------|-------|--------|------|--------|-----|
|          |             |       | 可処分所得         |      | 消費支出    |      |            |           |          |       |        |      |        |     |
|          | 軽乗用車販売台数    |       |               |      |         |      |            |           |          |       |        |      |        |     |
| 台        | 前年比(%)      | 円     | 前年比(%)        | 円    | 前年比(%)  | 倍    | %          | 件         | 前年比(%)   | 百億円   | 前年比(%) | 百億円  | 前年比(%) |     |
| 2006年    | 1 507 598   | 8.7   | 441 448       | 0.1  | 320 231 | ▲2.8 | 1.06       | 4.1       | 13 245   | 1.9   | 52 659 | 0.4  | 40 035 | 1.8 |
| 2007年    | 1 447 106   | ▲4.0  | 442 505       | 0.2  | 323 459 | 1.0  | 1.04       | 3.9       | 14 091   | 6.4   | 54 251 | 3.0  | 40 440 | 1.0 |
| 2008年    | 1 426 979   | ▲1.4  | 442 749       | 0.1  | 324 929 | 0.5  | 0.88       | 4.0       | 15 646   | 11.0  | 55 369 | 2.1  | 42 147 | 4.2 |
| 2008.8   | 89 142      | 2.4   | 412 235       | 4.8  | 322 501 | ▲0.7 | 0.85       | 4.1       | 1 254    | 4.2   | 54 705 | 2.2  | 40 418 | 2.0 |
| 9        | 127 838     | ▲1.9  | 359 201       | ▲1.0 | 307 778 | ▲1.1 | 0.83       | 4.0       | 1 408    | 34.5  | 54 940 | 2.3  | 40 619 | 1.8 |
| 10       | 112 288     | 10.2  | 405 982       | 2.4  | 313 544 | ▲4.0 | 0.80       | 3.8       | 1 429    | 13.4  | 54 499 | 1.8  | 40 931 | 3.5 |
| 11       | 109 197     | 3.3   | 366 664       | 0.3  | 310 146 | 2.4  | 0.76       | 4.0       | 1 277    | 5.3   | 55 163 | 1.6  | 41 364 | 4.2 |
| 12       | 93 759      | ▲6.0  | 821 280       | 1.7  | 365 435 | ▲3.7 | 0.73       | 4.3       | 1 362    | 24.2  | 55 369 | 2.1  | 42 147 | 4.2 |
| 2009.1   | 102 104     | ▲3.9  | 369 201       | 0.6  | 321 732 | ▲5.7 | 0.67       | 4.1       | 1 360    | 15.8  | 55 118 | 1.7  | 41 872 | 4.5 |
| 2        | 130 279     | ▲8.7  | 390 292       | ▲3.1 | 295 494 | ▲1.0 | 0.59       | 4.4       | 1 318    | 10.4  | 55 570 | 2.2  | 41 948 | 4.5 |
| 3        | 177 091     | ▲11.0 | 366 163       | ▲3.5 | 344 643 | 0.5  | 0.52       | 4.8       | 1 537    | 14.1  | 56 470 | 2.6  | 42 226 | 4.3 |
| 4        | 89 585      | ▲14.4 | 386 444       | 1.3  | 344 514 | 0.3  | 0.46       | 5.0       | 1 329    | 9.4   | 56 407 | 2.4  | 41 797 | 4.1 |
| 5        | 84 990      | ▲19.4 | 341 748       | 0.9  | 317 195 | 0.6  | 0.44       | 5.2       | 1 203    | ▲6.7  | 56 311 | 2.4  | 41 700 | 3.6 |
| 6        | 99 549      | ▲17.8 | 563 050       | ▲5.3 | 299 439 | ▲2.8 | 0.43       | 5.4       | 1 422    | 7.4   | 56 832 | 2.5  | 41 594 | 2.9 |
| 7        | 106 255     | ▲8.0  | 469 571       | ▲3.0 | 316 623 | ▲4.2 | 0.42       | 5.7       | 1 386    | 1.0   | 56 268 | 2.5  | 41 527 | 2.8 |
| 8        | 83 757      | ▲6.0  | 389 498       | ▲5.5 | 318 067 | ▲1.4 | 0.42       | 5.5       | 1 241    | ▲1.0  | 56 111 | 2.6  | 41 378 | 2.4 |
| 9        | 119 743     | ▲6.3  | 348 785       | ▲2.9 | 301 796 | ▲1.9 | 0.43       | 5.3       | 1 155    | ▲18.0 | 56 425 | 2.7  | 41 670 | 2.6 |
| 出所       | 全国軽自動車協会連合会 |       |               | 総務省  |         |      | 厚生労働省      | 総務省       | 東京商工リサーチ |       |        | 日本銀行 |        |     |

(注) pは速報値、rは修正値。鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)。有効求人倍率は、年間の実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行、長期信用銀行の合計、ただし、特別国際金融取引勘定を含まない。

# 経済指標 | 福岡県のデータ

| 項目<br>年月 | 鉄工業生産指数<br>(2005年 = 100) |         |       |         |       |         |       |         |       |         | 鉄工業出荷指数<br>(2005年 = 100) |         | 鉄工業在庫指数<br>(2005年 = 100) |         |
|----------|--------------------------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|--------------------------|---------|--------------------------|---------|
|          | 総合                       |         | 鉄鋼    |         | 電気機械  |         | 一般機械  |         | 輸送機械  |         | 季調値                      | 前年比 (%) | 季調値                      | 前年比 (%) |
|          | 季調値                      | 前年比 (%) | 季調値   | 前年比 (%) | 季調値   | 前年比 (%) | 季調値   | 前年比 (%) | 季調値   | 前年比 (%) |                          |         |                          |         |
| 2006年    | 102.6                    | 2.6     | 102.6 | 2.6     | 109.3 | 9.3     | 98.3  | ▲1.7    | 107.4 | 7.4     | 103.0                    | 3.0     | 113.8                    | 13.8    |
| 2007年    | 102.4                    | ▲0.2    | 105.9 | 3.3     | 113.6 | 3.9     | 101.2 | 2.9     | 112.3 | 4.6     | 102.7                    | ▲0.3    | 122.3                    | 7.4     |
| 2008年    | 102.7                    | 0.3     | 100.8 | ▲4.9    | 116.3 | 2.4     | 113.7 | 12.4    | 113.4 | 1.0     | 101.6                    | ▲1.1    | 122.1                    | ▲0.1    |
| 2008.8   | 102.7                    | ▲4.9    | 99.6  | ▲8.2    | 113.5 | ▲0.7    | 113.6 | 8.6     | 112.7 | ▲13.0   | 100.5                    | ▲7.6    | 124.9                    | 1.6     |
| 9        | 102.0                    | 0.1     | 101.2 | ▲5.8    | 117.6 | 6.0     | 118.1 | 9.3     | 113.0 | ▲2.2    | 101.4                    | ▲1.2    | 115.8                    | ▲9.8    |
| 10       | 97.0                     | ▲9.4    | 101.7 | ▲2.1    | 110.4 | ▲7.4    | 114.5 | 8.2     | 98.4  | ▲24.3   | 95.1                     | ▲11.4   | 119.2                    | 6.2     |
| 11       | 89.3                     | ▲16.8   | 91.4  | ▲14.3   | 112.1 | ▲6.2    | 106.7 | 0.5     | 76.1  | ▲42.6   | 83.3                     | ▲23.0   | 124.6                    | 4.0     |
| 12       | 86.4                     | ▲18.7   | 78.2  | ▲27.5   | 108.9 | ▲7.8    | 99.2  | ▲7.5    | 68.9  | ▲46.9   | 81.3                     | ▲24.2   | 129.1                    | 2.9     |
| 2009.1   | 74.8                     | ▲29.5   | 57.4  | ▲45.9   | 88.5  | ▲29.4   | 85.6  | ▲21.5   | 62.9  | ▲49.7   | 71.6                     | ▲33.1   | 122.0                    | ▲4.5    |
| 2        | 64.8                     | ▲41.4   | 56.5  | ▲47.4   | 72.5  | ▲41.8   | 75.7  | ▲34.8   | 38.4  | ▲71.4   | 60.0                     | ▲46.2   | 122.3                    | 6.1     |
| 3        | 70.4                     | ▲34.2   | 58.3  | ▲43.2   | 69.8  | ▲40.2   | 88.7  | ▲29.8   | 43.8  | ▲63.4   | 65.5                     | ▲38.0   | 119.7                    | ▲3.1    |
| 4        | 72.4                     | ▲32.2   | 58.4  | ▲45.2   | 63.8  | ▲47.5   | 62.8  | ▲48.0   | 67.0  | ▲45.2   | 73.0                     | ▲31.6   | 118.1                    | ▲7.1    |
| 5        | 79.6                     | ▲28.2   | 71.0  | ▲33.4   | 62.1  | ▲43.8   | 70.5  | ▲40.3   | 84.1  | ▲39.7   | 78.0                     | ▲30.6   | 112.1                    | ▲3.8    |
| 6        | 80.0                     | ▲24.1   | 74.1  | ▲29.3   | 62.6  | ▲47.6   | 63.9  | ▲38.7   | 86.3  | ▲31.1   | 79.4                     | ▲24.0   | 118.1                    | ▲5.7    |
| 7        | 81.4                     | ▲24.9   | 84.2  | ▲18.7   | 64.3  | ▲44.6   | 62.8  | ▲44.6   | 84.3  | ▲35.4   | 81.3                     | ▲26.2   | 126.9                    | 7.4     |
| 8        | 84.7                     | ▲17.8   | 86.0  | ▲14.4   | 68.0  | ▲40.5   | 73.4  | ▲35.8   | 97.1  | ▲15.9   | 85.9                     | ▲16.7   | 111.4                    | ▲11.0   |
| 9        |                          |         |       |         |       |         |       |         |       |         |                          |         |                          |         |
| 出所       | 福岡県調査統計課                 |         |       |         |       |         |       |         |       |         |                          |         |                          |         |

| 項目<br>年月 | 貿易     |        | 公共工事<br>保証請負金額 |        | 建築着工統計<br>工事費予定額<br>（非居住用） |        | 新設住宅着工戸数 |        |        |        |        | 消費者物価指数<br>（2005年 = 100） |      | 大型小売店<br>販売額 |         |  |
|----------|--------|--------|----------------|--------|----------------------------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------------------------|------|--------------|---------|--|
|          | 輸出金額   | 輸入金額   | 億円             | 前年比（%） | 億円                         | 前年比（%） | 合計       |        | 持家     | 貸家     | 分譲     | 福岡市                      |      | 百万円          | 前年比（%）  |  |
|          | 前年比（%） | 前年比（%） |                |        |                            |        | 戸        | 前年比（%） | 前年比（%） | 前年比（%） | 前年比（%） | 前年比（%）                   |      |              |         |  |
| 2006年    | 9.2    | 23.6   | 4,252          | ▲11.7  | 3,586                      | 21.8   | 58,952   | 8.4    | ▲1.5   | 9.8    | 15.2   | 100.1                    | 0.1  | 709,923      | ▲1.8    |  |
| 2007年    | 17.0   | 11.6   | 4,673          | 9.9    | 3,661                      | 2.1    | 45,066   | ▲23.6  | ▲9.8   | ▲21.1  | ▲40.2  | 100.0                    | ▲0.1 | 716,699      | 1.0     |  |
| 2008年    | 8.4    | 2.2    | 4,262          | ▲8.8   | 3,680                      | 0.5    | 47,139   | 4.6    | 0.3    | ▲3.0   | 30.3   | 101.0                    | 1.0  | 700,451      | ▲2.3    |  |
| 2008.8   | 28.8   | 8.8    | 305            | 2.1    | 439                        | 268.1  | 4,492    | 84.4   | 18.8   | 114.9  | 124.7  | 102.0                    | 1.6  | 55,357       | ▲0.9    |  |
| 9        | 20.4   | 23.4   | 382            | 3.9    | 305                        | ▲3.2   | 4,076    | 83.0   | 7.2    | 109.0  | 192.1  | 101.8                    | 1.5  | 50,624       | ▲3.0    |  |
| 10       | 6.7    | 0.3    | 454            | 1.9    | 389                        | 165.7  | 3,526    | 29.0   | ▲11.9  | 18.5   | 215.5  | 101.7                    | 1.1  | 55,165       | ▲2.3    |  |
| 11       | ▲19.0  | ▲19.1  | 279            | ▲19.8  | 192                        | 14.7   | 3,153    | 7.6    | ▲18.8  | 9.7    | 57.7   | 101.0                    | 0.6  | 58,411       | ▲2.5    |  |
| 12       | ▲38.4  | ▲18.4  | 235            | ▲25.5  | 260                        | ▲14.9  | 3,405    | ▲3.8   | 4.4    | ▲9.7   | 3.0    | 100.6                    | 0.2  | 76,361       | ▲4.6    |  |
| 2009.1   | ▲48.5  | ▲37.6  | 220            | ▲22.3  | 166                        | ▲47.0  | 2,678    | ▲32.0  | ▲15.8  | ▲7.0   | ▲75.1  | 100.1                    | ▲0.1 | 60,176       | ▲4.1    |  |
| 2        | ▲51.1  | ▲43.8  | 164            | ▲13.7  | 140                        | ▲48.4  | 2,866    | ▲7.1   | ▲14.2  | ▲35.8  | 88.2   | 99.6                     | ▲0.1 | 48,000       | ▲5.7    |  |
| 3        | ▲43.6  | ▲36.0  | 439            | ▲2.5   | 212                        | 10.7   | 2,529    | ▲22.2  | ▲13.5  | ▲21.7  | ▲18.3  | 99.8                     | ▲0.4 | 54,171       | ▲7.4    |  |
| 4        | ▲29.1  | ▲36.5  | 447            | 28.4   | 144                        | ▲32.8  | 2,264    | ▲43.8  | ▲20.4  | ▲52.7  | ▲41.8  | 100.2                    | 0.2  | 52,740       | ▲4.6    |  |
| 5        | ▲40.1  | ▲36.6  | 220            | ▲65.6  | 200                        | ▲21.3  | 2,367    | ▲53.9  | ▲18.0  | ▲67.9  | ▲50.2  | 100.0                    | ▲1.0 | 54,205       | ▲4.3    |  |
| 6        | ▲27.4  | ▲36.9  | 244            | ▲19.2  | 190                        | ▲57.6  | 2,439    | ▲42.5  | 2.9    | ▲58.8  | ▲48.7  | 99.7                     | ▲1.8 | 51,505       | ▲4.0    |  |
| 7        | ▲38.9  | ▲39.0  | 387            | ▲2.0   | 124                        | ▲69.4  | 2,276    | ▲52.7  | ▲12.0  | ▲63.9  | ▲57.1  | 99.5                     | ▲2.3 | 61,265       | ▲8.3    |  |
| 8        | ▲38.1  | ▲41.7  | 385            | 26.3   | 182                        | ▲58.6  | 1,938    | ▲56.9  | ▲19.2  | ▲60.6  | ▲80.4  | 99.7                     | ▲2.3 | 53,692       | ▲3.0    |  |
| 9        | ▲36.9  | ▲35.7  | 479            | 25.3   | 283                        | ▲7.2   | 2,078    | ▲49.0  | ▲17.7  | ▲48.3  | ▲80.4  | 99.8                     | ▲2.0 | 49,315       | ▲2.6    |  |
| 出所       | 門司税関   |        | 西日本建設業保証       |        | 国土交通省                      |        |          |        |        |        |        |                          | 総務省  |              | 九州経済産業局 |  |

| 項目<br>年月 | 乗用車          |       |             |       | 家計消費支出(勤労者世帯) |       |            |       | 有効求人<br>倍率 | 倒産件数     |       | 預金残高    |     | 貸金残高    |      |
|----------|--------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|------------|-------|------------|----------|-------|---------|-----|---------|------|
|          |              |       |             |       | 可処分所得         |       | 消費支出       |       |            |          |       |         |     |         |      |
|          | 乗用車新規登録台数    |       | 軽乗用車販売台数    |       | 北九州・福岡大都市圏    |       | 北九州・福岡大都市圏 |       |            | 倍        | 件     | 前年比(%)  | 億円  | 前年比(%)  | 億円   |
| 台        | 前年比(%)       | 台     | 前年比(%)      | 円     | 前年比(%)        | 円     | 前年比(%)     |       |            |          |       |         |     |         |      |
| 2006年    | 116 406      | ▲7.4  | 60 043      | 9.4   | 407 739       | 0.5   | 318 997    | ▲2.4  | 0.85       | 502      | 4.6   | 167 812 | 1.0 | 131 749 | ▲0.5 |
| 2007年    | 110 632      | ▲5.0  | 57 556      | ▲4.1  | 389 439       | ▲4.5  | 307 328    | ▲3.7  | 0.85       | 504      | 0.4   | 170 787 | 1.8 | 134 357 | 2.0  |
| 2008年    | 105 889      | ▲4.3  | 56 454      | ▲1.9  | 396 303       | 1.8   | 312 775    | 1.8   | 0.63       | 545      | 8.1   | 174 098 | 1.9 | 137 598 | 2.4  |
| 2008.8   | 6 717        | ▲11.4 | 3 643       | 6.7   | 390 492       | 18.3  | 332 145    | ▲1.8  | 0.61       | 44       | 18.9  | 172 509 | 2.8 | 134 982 | 2.8  |
| 9        | 10 149       | ▲2.0  | 5 007       | ▲4.2  | 325 291       | 0.2   | 284 109    | ▲7.5  | 0.60       | 57       | 23.9  | 170 756 | 1.0 | 133 772 | 0.9  |
| 10       | 7 731        | ▲11.1 | 4 067       | 2.5   | 359 273       | ▲7.3  | 291 289    | ▲17.1 | 0.58       | 50       | 13.6  | 171 011 | 2.1 | 133 939 | 2.1  |
| 11       | 7 306        | ▲24.2 | 4 392       | ▲3.1  | 328 971       | ▲3.4  | 269 173    | ▲7.1  | 0.57       | 49       | 4.3   | 172 075 | 2.1 | 135 213 | 2.0  |
| 12       | 5 790        | ▲26.8 | 3 476       | ▲8.9  | 719 021       | ▲0.2  | 321 059    | ▲15.1 | 0.54       | 46       | 17.9  | 174 098 | 1.9 | 137 598 | 2.4  |
| 2009.1   | 5 669        | ▲28.8 | 4 317       | ▲0.6  | 331 081       | ▲3.5  | 280 795    | ▲15.9 | 0.53       | 47       | 27.0  | 174 047 | 2.6 | 137 893 | 3.5  |
| 2        | 7 411        | ▲32.9 | 5 451       | ▲4.9  | 340 334       | ▲11.3 | 320 857    | ▲10.6 | 0.49       | 31       | ▲3.1  | 174 802 | 3.0 | 139 537 | 3.8  |
| 3        | 10 067       | ▲33.1 | 7 210       | ▲7.5  | 363 562       | 4.9   | 302 707    | ▲12.6 | 0.47       | 44       | ▲26.7 | 173 123 | 2.0 | 138 830 | 2.8  |
| 4        | 5 626        | ▲26.8 | 3 443       | ▲14.5 | 363 157       | 6.8   | 345 229    | 0.4   | 0.44       | 36       | ▲10.0 | 176 984 | 2.1 | 139 053 | 3.8  |
| 5        | 5 830        | ▲17.6 | 3 058       | ▲27.6 | 321 803       | 9.1   | 288 607    | ▲4.0  | 0.41       | 42       | ▲8.7  | 177 992 | 3.1 | 139 664 | 3.6  |
| 6        | 8 068        | ▲12.5 | 4 109       | ▲15.1 | 512 642       | 1.8   | 265 019    | ▲1.6  | 0.39       | 48       | ▲2.0  | 177 869 | 2.4 | 136 965 | 1.8  |
| 7        | 10 237       | 0.7   | 4 330       | ▲11.9 | 452 800       | 7.6   | 302 536    | ▲0.0  | 0.38       | 45       | 28.6  | 176 098 | 2.5 | 137 635 | 2.2  |
| 8        | 7 454        | 11.0  | 3 473       | ▲4.7  | 349 799       | ▲10.4 | 306 421    | ▲7.7  | 0.38       | 33       | ▲25.0 | 176 063 | 2.1 | 137 549 | 1.9  |
| 9        | 11 449       | 12.8  | 4 919       | ▲1.8  | 322 387       | ▲0.9  | 311 945    | 9.8   | 0.39       | 44       | ▲22.8 | 175 654 | 2.9 | 138 110 | 3.2  |
| 出所       | 日本自動車販売協会連合会 |       | 全国軽自動車協会連合会 |       | 総務省           |       |            |       | 厚生労働省      | 東京商工リサーチ |       | 日本銀行    |     |         |      |

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

# 経済指標 | 熊本県のデータ

| 項目<br>年月 | 鉱工業生産指数<br>(2005年 = 100) |        |       |        |       |        |       |        |       |        | 鉱工業出荷指数<br>(2005年 = 100) |        | 鉱工業在庫指数<br>(2005年 = 100) |        |
|----------|--------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------------------------|--------|--------------------------|--------|
|          | 総合                       |        | 食料品   |        | 電子部品  |        | 一般機械  |        | 輸送機械  |        | 季調値                      | 前年比(%) | 季調値                      | 前年比(%) |
|          | 季調値                      | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) |                          |        |                          |        |
| 2006年    | 109.6                    | 9.6    | 100.5 | 0.5    | 122.5 | 22.5   | 111.0 | 11.0   | 99.2  | ▲0.8   | 108.6                    | 8.6    | 112.0                    | 12.0   |
| 2007年    | 109.3                    | ▲0.3   | 99.3  | ▲1.2   | 137.8 | 12.5   | 118.0 | 6.3    | 91.9  | ▲7.4   | 108.3                    | ▲0.3   | 113.2                    | 1.1    |
| 2008年    | 103.6                    | ▲5.3   | 97.9  | ▲1.4   | 138.6 | 0.6    | 78.2  | ▲33.8  | 94.4  | 2.7    | 101.0                    | ▲6.8   | 124.5                    | 10.0   |
| 2008.8   | 102.0                    | ▲2.7   | 103.4 | ▲8.2   | 132.2 | 71.3   | 69.0  | ▲42.6  | 96.7  | ▲27.9  | 99.2                     | ▲6.5   | 123.6                    | 44.3   |
| 9        | 102.6                    | ▲1.3   | 89.9  | ▲4.1   | 134.6 | 0.5    | 64.9  | ▲30.0  | 101.6 | 20.7   | 101.9                    | 0.9    | 120.1                    | 4.7    |
| 10       | 99.6                     | ▲7.6   | 95.7  | 0.0    | 130.3 | ▲9.2   | 62.2  | ▲42.1  | 100.4 | 8.1    | 97.5                     | ▲10.5  | 127.6                    | 14.1   |
| 11       | 97.1                     | ▲12.6  | 95.9  | ▲2.6   | 118.9 | ▲22.9  | 56.6  | ▲43.2  | 102.1 | 11.2   | 95.1                     | ▲14.2  | 134.1                    | 18.8   |
| 12       | 93.0                     | ▲11.3  | 93.4  | ▲1.1   | 112.1 | ▲22.2  | 63.0  | ▲40.1  | 101.7 | 27.8   | 89.7                     | ▲11.5  | 143.3                    | 25.8   |
| 2009.1   | 82.6                     | ▲23.2  | 96.3  | ▲2.7   | 86.1  | ▲43.2  | 70.7  | ▲27.7  | 75.2  | ▲7.1   | 83.9                     | ▲19.8  | 144.4                    | 16.6   |
| 2        | 75.8                     | ▲31.9  | 95.5  | ▲7.9   | 74.1  | ▲53.5  | 53.0  | ▲45.4  | 76.3  | ▲10.4  | 76.5                     | ▲28.5  | 141.8                    | 13.4   |
| 3        | 71.3                     | ▲34.2  | 98.9  | 1.2    | 78.8  | ▲50.6  | 62.1  | ▲32.2  | 72.7  | ▲8.7   | 73.3                     | ▲30.5  | 120.3                    | 1.8    |
| 4        | 77.3                     | ▲29.2  | 93.0  | ▲5.3   | 104.6 | ▲30.2  | 32.6  | ▲68.0  | 68.7  | ▲22.2  | 76.0                     | ▲28.2  | 113.1                    | ▲0.3   |
| 5        | 76.8                     | ▲30.0  | 93.3  | ▲6.7   | 100.3 | ▲33.7  | 30.1  | ▲65.8  | 75.3  | ▲23.6  | 76.4                     | ▲28.9  | 115.2                    | ▲2.6   |
| 6        | 78.4                     | ▲24.2  | 98.2  | 0.9    | 108.7 | ▲19.3  | 48.3  | ▲32.7  | 71.7  | ▲28.8  | 78.4                     | ▲21.3  | 109.6                    | ▲9.5   |
| 7        | 80.4                     | ▲21.2  | 100.3 | 0.8    | 111.3 | ▲19.1  | 50.2  | ▲24.8  | 69.1  | ▲30.2  | 78.6                     | ▲22.3  | 107.6                    | ▲13.8  |
| 8        | 81.3                     | ▲20.3  | 95.2  | ▲7.9   | 107.9 | ▲18.4  | 38.3  | ▲44.5  | 75.9  | ▲21.5  | 79.0                     | ▲20.4  | 106.1                    | ▲14.2  |
| 9        |                          |        |       |        |       |        |       |        |       |        |                          |        |                          |        |
| 出所       | 熊本県統計課                   |        |       |        |       |        |       |        |       |        |                          |        |                          |        |

| 項目<br>年月 | 貿易     |        | 公共工事<br>保証請負金額 |        | 建築着工統計<br>工事費予定額<br>（非居住用） |        | 新設住宅着工戸数 |        |        |        |        | 消費者物価指数<br>（2005年 = 100） |      | 大型小売店<br>販売額 |       |
|----------|--------|--------|----------------|--------|----------------------------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|--------------------------|------|--------------|-------|
|          | 輸出金額   | 輸入金額   | 億円             | 前年比（%） | 億円                         | 前年比（%） | 合計       |        | 持家     | 貸家     | 分譲     | 熊本市                      | 百万円  | 前年比（%）       |       |
|          | 前年比（%） | 前年比（%） |                |        |                            |        | 戸        | 前年比（%） | 前年比（%） | 前年比（%） | 前年比（%） |                          |      |              |       |
| 2006年    | 11.5   | 9.6    | 2,077          | 24.8   | 1,165                      | ▲5.5   | 14,805   | 5.5    | 2.7    | 7.6    | 20.6   | 100.0                    | ▲0.0 | 188,840      | ▲0.4  |
| 2007年    | 3.9    | 20.8   | 2,071          | ▲0.3   | 1,289                      | 10.6   | 13,286   | ▲10.3  | ▲8.1   | ▲7.2   | ▲27.3  | 99.9                     | ▲0.1 | 187,676      | ▲0.6  |
| 2008年    | 2.6    | 26.7   | 2,021          | ▲2.4   | 1,098                      | ▲14.8  | 12,542   | ▲5.6   | 0.3    | ▲8.7   | ▲10.5  | 101.1                    | 1.2  | 184,134      | ▲1.9  |
| 2008.8   | 4.0    | 64.3   | 128            | ▲14.5  | 93                         | 57.7   | 1,268    | 46.9   | 18.3   | 50.7   | 181.0  | 101.8                    | 1.6  | 14,706       | ▲2.3  |
| 9        | 102.4  | 53.7   | 240            | ▲4.9   | 77                         | 28.1   | 1,021    | ▲4.9   | ▲5.5   | 23.9   | ▲69.6  | 102.2                    | 1.8  | 12,747       | ▲2.5  |
| 10       | ▲40.9  | 49.2   | 218            | 19.8   | 75                         | 62.9   | 1,245    | 39.4   | 14.0   | 24.2   | 201.9  | 102.3                    | 1.9  | 14,444       | 1.2   |
| 11       | ▲31.4  | 30.0   | 115            | ▲36.6  | 82                         | ▲11.8  | 1,164    | 2.2    | ▲11.1  | 9.5    | 58.5   | 101.4                    | 1.1  | 15,006       | ▲1.4  |
| 12       | ▲53.3  | 26.8   | 149            | ▲14.1  | 82                         | ▲19.1  | 795      | ▲23.1  | ▲4.3   | ▲24.2  | ▲52.3  | 101.1                    | 0.8  | 20,683       | ▲4.2  |
| 2009.1   | ▲54.2  | ▲18.4  | 102            | ▲4.9   | 43                         | ▲62.8  | 771      | ▲37.9  | ▲15.4  | ▲58.5  | 11.4   | 100.6                    | 0.6  | 16,524       | ▲3.0  |
| 2        | ▲55.3  | ▲3.0   | 99             | ▲37.3  | 50                         | ▲62.6  | 825      | ▲14.3  | 17.8   | ▲34.5  | 0.0    | 100.2                    | 0.2  | 12,200       | ▲10.0 |
| 3        | ▲56.2  | 53.1   | 232            | ▲13.3  | 36                         | ▲46.8  | 819      | 11.0   | 6.4    | ▲36.6  | 135.4  | 100.6                    | 0.3  | 14,319       | ▲5.7  |
| 4        | 9.0    | ▲37.9  | 268            | 11.3   | 54                         | 28.8   | 816      | ▲17.9  | ▲35.4  | ▲34.2  | 90.1   | 100.8                    | 0.7  | 13,614       | ▲6.6  |
| 5        | ▲13.5  | ▲60.4  | 94             | ▲47.8  | 58                         | ▲20.1  | 650      | ▲38.4  | ▲4.9   | ▲56.8  | ▲15.8  | 100.5                    | ▲0.5 | 14,120       | ▲4.7  |
| 6        | ▲6.3   | ▲22.1  | 87             | ▲7.1   | 54                         | ▲33.1  | 1,087    | 2.3    | ▲4.5   | 19.5   | ▲12.5  | 100.4                    | ▲1.0 | 13,275       | ▲5.6  |
| 7        | ▲47.5  | ▲40.2  | 165            | 32.2   | 60                         | ▲66.2  | 925      | ▲6.8   | ▲7.6   | ▲5.5   | ▲14.0  | 100.2                    | ▲1.3 | 15,883       | ▲8.4  |
| 8        | ▲30.2  | ▲70.8  | 191            | 49.9   | 51                         | ▲45.0  | 750      | ▲40.9  | ▲31.8  | ▲39.0  | ▲68.1  | 100.4                    | ▲1.4 | 13,797       | ▲6.2  |
| 9        | ▲72.6  | ▲42.4  | 311            | 29.7   | 68                         | ▲11.6  | 756      | ▲26.0  | ▲2.4   | ▲51.4  | 63.5   | 100.6                    | ▲1.6 | 12,385       | ▲2.8  |
| 出所       | 門司税関   |        | 西日本建設業保証       |        | 国土交通省                      |        |          |        |        | 総務省    |        | 九州経済産業局                  |      |              |       |

| 項目<br>年月 | 乗用車          |       |             |       | 家計消費支出（勤労者世帯） |       |         |       | 有効求人<br>倍率 | 倒産件数     |       | 預金残高   |      | 貸金残高   |     |
|----------|--------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|---------|-------|------------|----------|-------|--------|------|--------|-----|
|          |              |       |             |       | 可処分所得         |       | 消費支出    |       |            |          |       |        |      |        |     |
|          | 乗用車新規登録台数    |       | 軽乗用車販売台数    |       | 熊本市           |       | 熊本市     |       |            |          |       |        |      |        |     |
| 台        | 前年比（%）       | 台     | 前年比（%）      | 円     | 前年比（%）        | 円     | 前年比（%）  | 倍     | 件          | 前年比（%）   | 億円    | 前年比（%） | 億円   | 前年比（%） |     |
| 2006年    | 34,157       | ▲6.7  | 28,124      | 4.5   | 390,341       | ▲12.3 | 284,617 | ▲13.7 | 0.81       | 127      | ▲2.3  | 47,162 | ▲0.2 | 27,575 | 0.7 |
| 2007年    | 32,225       | ▲5.7  | 27,998      | ▲0.4  | 431,614       | 10.6  | 297,580 | 4.6   | 0.82       | 139      | 9.4   | 47,976 | 1.7  | 28,666 | 4.0 |
| 2008年    | 31,184       | ▲3.2  | 28,287      | 1.0   | 394,696       | ▲8.6  | 308,050 | 3.5   | 0.63       | 179      | 28.8  | 48,615 | 1.3  | 29,535 | 3.0 |
| 2008.8   | 1,781        | ▲14.0 | 1,943       | ▲3.2  | 347,826       | ▲1.9  | 287,104 | 5.6   | 0.61       | 20       | 53.8  | 48,670 | 2.8  | 28,843 | 5.1 |
| 9        | 3,069        | ▲2.7  | 2,362       | 2.9   | 339,971       | 5.7   | 288,940 | 10.7  | 0.59       | 16       | 45.5  | 48,168 | 0.4  | 28,914 | 4.4 |
| 10       | 2,180        | ▲11.4 | 2,061       | 9.9   | 382,914       | 7.4   | 297,947 | 4.1   | 0.56       | 13       | 30.0  | 47,998 | 1.8  | 28,769 | 2.7 |
| 11       | 2,200        | ▲26.4 | 2,181       | 7.9   | 335,743       | ▲5.8  | 294,863 | 1.1   | 0.52       | 13       | ▲7.1  | 48,254 | 2.6  | 29,074 | 3.0 |
| 12       | 1,585        | ▲22.5 | 1,930       | ▲3.5  | 673,220       | ▲20.6 | 340,159 | ▲2.6  | 0.49       | 23       | 109.1 | 48,615 | 1.3  | 29,535 | 3.0 |
| 2009.1   | 1,981        | ▲19.4 | 2,227       | 1.3   | 326,437       | ▲5.2  | 342,506 | 9.5   | 0.44       | 15       | 50.0  | 48,231 | 2.2  | 29,400 | 4.0 |
| 2        | 2,334        | ▲28.2 | 2,762       | ▲4.2  | 331,849       | ▲1.7  | 245,763 | ▲12.0 | 0.41       | 7        | ▲53.3 | 48,420 | 2.6  | 29,336 | 4.0 |
| 3        | 3,509        | ▲25.7 | 3,327       | ▲13.0 | 326,688       | ▲7.2  | 383,122 | 18.6  | 0.40       | 11       | ▲26.7 | 47,989 | 1.8  | 29,490 | 2.1 |
| 4        | 1,746        | ▲19.8 | 1,778       | ▲10.8 | 333,201       | ▲0.1  | 324,857 | ▲5.3  | 0.36       | 5        | ▲28.6 | 49,228 | 3.1  | 29,147 | 3.2 |
| 5        | 1,824        | ▲14.4 | 1,777       | ▲18.2 | 309,038       | ▲2.3  | 289,525 | ▲8.0  | 0.35       | 8        | ▲52.9 | 49,377 | 2.0  | 29,249 | 1.9 |
| 6        | 2,686        | 7.7   | 2,044       | ▲15.4 | 547,292       | ▲2.7  | 266,577 | ▲5.1  | 0.36       | 20       | 25.0  | 49,668 | 0.9  | 29,144 | 1.8 |
| 7        | 3,203        | 2.1   | 2,117       | ▲8.9  | 391,433       | ▲4.6  | 305,104 | ▲8.7  | 0.35       | 10       | ▲28.6 | 48,858 | 0.7  | 29,258 | 1.8 |
| 8        | 2,295        | 28.9  | 1,811       | ▲6.8  | 318,095       | ▲8.5  | 283,635 | ▲1.2  | 0.36       | 7        | ▲65.0 | 48,978 | 0.6  | 29,193 | 1.2 |
| 9        | 3,779        | 23.1  | 2,301       | ▲2.6  | 341,172       | 0.4   | 330,034 | 14.2  | 0.37       | 7        | ▲56.3 | 48,716 | 1.1  | 29,496 | 2.0 |
| 出所       | 日本自動車販売協会連合会 |       | 全国軽自動車協会連合会 |       | 総務省           |       |         |       | 厚生労働省      | 東京商工リサーチ |       | 日本銀行   |      |        |     |

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。

# 経済指標 | 長崎県のデータ

| 項目<br>年月 | 鉱工業生産指数<br>(2000年 = 100) |        |       |        |       |        |      |        |       |        | 造船                |        | 機械等   |        | 電子部品生<br>産高 |          |  |
|----------|--------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|------|--------|-------|--------|-------------------|--------|-------|--------|-------------|----------|--|
|          | 総合                       |        | 一般機械  |        | 食料品工業 |        | 電気機械 |        | 輸送機械  |        | 生産高               |        |       |        |             |          |  |
|          | 季調値                      | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 季調値  | 前年比(%) | 季調値   | 前年比(%) | 億円                | 前年比(%) | 億円    | 前年比(%) |             | 前年比(%)   |  |
| 2006年    | 104.0                    | 8.3    | 120.8 | 18.6   | 102.6 | 0.0    | 49.3 | 7.8    | 123.8 | ▲7.6   | 1,875             | 8.3    | 2,774 | ▲5.8   | 7.0         |          |  |
| 2007年    | 105.9                    | 1.8    | 106.5 | ▲11.9  | 100.0 | ▲2.5   | 61.6 | 25.2   | 122.8 | ▲0.8   | 2,166             | 15.5   | 3,079 | 11.0   | 3.0         |          |  |
| 2008年    | 118.5                    | 11.9   | 155.2 | 45.8   | 102.6 | 2.6    | 46.0 | ▲25.4  | 145.8 | 18.7   | 2,263             | 4.5    | 3,180 | 3.3    | 0.7         |          |  |
| 2008.8   | 126.6                    | 17.6   | 203.5 | 103.3  | 103.2 | ▲7.6   | 38.1 | ▲41.8  | 151.7 | 22.8   | 178               | ▲5.8   | 250   | 0.2    | ▲6.6        |          |  |
| 9        | 125.4                    | 19.5   | 187.8 | 90.3   | 107.3 | ▲1.5   | 37.7 | ▲27.0  | 148.9 | 13.8   | 203               | 10.4   | 255   | ▲2.3   | ▲19.1       |          |  |
| 10       | 126.3                    | 20.9   | 161.8 | 76.2   | 104.2 | ▲6.1   | 42.2 | ▲22.3  | 162.6 | 15.8   | 218               | 17.8   | 277   | 5.1    | ▲4.3        |          |  |
| 11       | 108.5                    | ▲2.9   | 135.0 | 45.4   | 95.2  | ▲12.1  | 53.5 | 3.0    | 151.5 | 4.2    | 169               | ▲12.2  | 316   | 14.8   | ▲12.2       |          |  |
| 12       | 108.0                    | ▲5.1   | 123.4 | 22.4   | 101.0 | 416.4  | 48.3 | ▲6.7   | 150.3 | 11.4   | 178               | ▲2.0   | 303   | 22.3   | ▲38.7       |          |  |
| 2009.1   | 85.1                     | ▲28.7  | 111.2 | ▲15.3  | 101.0 | ▲4.4   | 44.0 | ▲11.9  | 114.9 | ▲17.1  | 157               | ▲8.8   | 262   | 0.6    | ▲43.7       |          |  |
| 2        | 81.2                     | ▲36.6  | 100.8 | ▲31.6  | 95.0  | ▲17.4  | 46.4 | ▲3.6   | 138.0 | ▲1.0   | 163               | ▲15.7  | 215   | ▲12.8  | ▲38.2       |          |  |
| 3        | 71.4                     | ▲29.1  | 85.0  | ▲39.1  | 97.9  | ▲7.5   | 58.8 | 52.5   | 140.2 | 6.6    | 192               | 2.6    | 201   | ▲10.3  | ▲44.4       |          |  |
| 4        | 81.4                     | ▲33.7  | 72.3  | ▲50.2  | 99.7  | ▲2.7   | 43.8 | ▲6.6   | 146.6 | 6.4    | 202               | 0.1    | 201   | ▲16.1  | ▲48.8       |          |  |
| 5        | 91.4                     | ▲24.9  | 98.5  | ▲38.5  | 104.8 | 4.6    | 40.3 | ▲16.0  | 143.0 | 3.6    | 182               | ▲0.8   | 197   | ▲19.4  | ▲20.0       |          |  |
| 6        | 109.8                    | ▲8.7   | 116.0 | ▲27.5  | 102.1 | 11.1   | 34.2 | ▲27.6  | 143.6 | ▲1.7   | 196               | ▲3.3   | 207   | ▲29.7  | ▲25.0       |          |  |
| 7        | 112.6                    | ▲7.8   | 136.7 | ▲25.8  | 106.9 | 5.4    | 37.8 | ▲35.1  | 167.1 | 10.4   | 195               | 11.0   | 201   | ▲26.0  | ▲1.0        |          |  |
| 8        | 121.7                    | ▲3.9   | 198.6 | ▲2.4   | 120.2 | 16.5   | 44.1 | 16.0   | 132.1 | ▲13.0  | 171               | ▲4.0   | 172   | ▲31.1  | ▲10.5       |          |  |
| 9        |                          |        |       |        |       |        |      |        |       |        |                   |        |       |        | 2.7         |          |  |
| 出所       | 長崎県統計課                   |        |       |        |       |        |      |        |       |        | 三菱重工業長崎造船所、佐世保重工業 |        |       |        |             | 日本銀行長崎支店 |  |

| 項目<br>年月 | 貿易      |         | 漁業水揚げ金額  |         | 公共工事<br>保証請負金額 |         | 建築着工統計<br>工事費予定額<br>(非居住用) |         | 新設住宅着工戸数 |         |             |         |         | 観光施設入場者数<br>(主要7施設合計) |         | 消費者物価指数<br>(2005年 = 100) |         |
|----------|---------|---------|----------|---------|----------------|---------|----------------------------|---------|----------|---------|-------------|---------|---------|-----------------------|---------|--------------------------|---------|
|          | 輸出金額    | 輸入金額    |          |         |                |         |                            |         | 合計       |         | 持家          | 貸家      | 分譲      |                       |         | 長崎市                      |         |
|          | 前年比 (%) | 前年比 (%) | 百万円      | 前年比 (%) | 億円             | 前年比 (%) | 億円                         | 前年比 (%) | 戸        | 前年比 (%) | 前年比 (%)     | 前年比 (%) | 前年比 (%) | 千人                    | 前年比 (%) | 指数                       | 前年比 (%) |
| 2006年    | 41.2    | 16.3    | 64,947   | ▲7.3    | 1,765          | ▲15.5   | 831                        | 7.4     | 8,940    | ▲12.6   | 0.6         | ▲22.8   | ▲12.7   | 4,775                 | 3.9     | 99.8                     | ▲0.2    |
| 2007年    | 6.0     | 20.7    | 70,247   | 8.2     | 1,862          | 5.5     | 644                        | ▲22.5   | 6,901    | ▲22.8   | ▲19.6       | ▲11.9   | ▲56.6   | 5,000                 | 4.7     | 99.7                     | ▲0.1    |
| 2008年    | 5.7     | 57.5    | 73,499   | 4.6     | 1,575          | ▲15.4   | 582                        | ▲9.6    | 6,942    | 0.6     | 1.5         | ▲8.9    | 51.3    | 4,593                 | ▲8.1    | 100.9                    | 1.2     |
| 2008.8   | 67.3    | 71.5    | 4,758    | 4.5     | 151            | ▲27.3   | 69                         | ▲35.2   | 609      | 25.1    | 16.4        | 11.4    | 98.4    | 543                   | ▲8.1    | 101.8                    | 2.0     |
| 9        | ▲49.0   | 19.6    | 5,693    | 16.7    | 153            | ▲27.1   | 41                         | ▲39.9   | 626      | ▲7.1    | ▲21.7       | ▲32.8   | 156.8   | 327                   | ▲17.1   | 101.9                    | 2.0     |
| 10       | ▲9.8    | 24.0    | 5,850    | ▲3.0    | 192            | ▲6.9    | 50                         | 1.6     | 703      | 66.2    | 13.9        | 105.7   | 305.9   | 412                   | ▲2.9    | 101.9                    | 1.6     |
| 11       | ▲10.8   | 6.6     | 6,048    | ▲6.8    | 121            | ▲33.7   | 25                         | ▲27.1   | 692      | 3.6     | ▲17.1       | ▲42.2   | 648.6   | 389                   | ▲15.8   | 101.0                    | 1.0     |
| 12       | 28.1    | 15.6    | 7,511    | 0.7     | 141            | 4.5     | 47                         | 70.0    | 560      | ▲3.3    | 7.4         | ▲10.8   | 9.4     | 314                   | ▲20.8   | 100.9                    | 0.8     |
| 2009.1   | 58.3    | ▲79.6   | 5,431    | ▲2.1    | 127            | 35.9    | 167                        | 290.9   | 472      | ▲7.8    | ▲22.7       | 3.8     | ▲7.9    | 183                   | ▲29.8   | 100.5                    | 0.7     |
| 2        | 9.4     | ▲31.5   | 5,104    | ▲9.5    | 150            | 11.8    | 34                         | ▲3.7    | 505      | ▲8.0    | ▲14.6       | 5.6     | 10.0    | 209                   | ▲34.4   | 100.1                    | 0.5     |
| 3        | 26.2    | ▲30.7   | 5,520    | ▲16.5   | 200            | ▲16.8   | 27                         | ▲2.9    | 292      | ▲47.7   | ▲39.7       | ▲54.0   | ▲50.0   | 407                   | ▲17.0   | 100.5                    | 0.5     |
| 4        | ▲53.5   | ▲37.0   | 5,739    | ▲24.6   | 152            | 125.8   | 41                         | ▲35.3   | 465      | ▲10.2   | ▲3.9        | ▲15.5   | ▲62.0   | 287                   | ▲28.2   | 100.6                    | 0.4     |
| 5        | 22.2    | ▲66.4   | 5,011    | ▲25.7   | 104            | 147.0   | 44                         | 26.5    | 424      | 5.7     | 2.9         | 39.6    | ▲79.3   | 465                   | ▲12.2   | 100.4                    | ▲0.5    |
| 6        | 3.2     | ▲49.5   | 4,056    | ▲28.7   | 141            | 22.6    | 79                         | 68.6    | 511      | ▲32.5   | ▲13.0       | ▲49.3   | ▲29.1   | 232                   | ▲15.7   | 99.7                     | ▲1.4    |
| 7        | 23.3    | ▲57.0   | 3,905    | ▲32.7   | 245            | 97.6    | 27                         | ▲72.6   | 361      | ▲21.0   | ▲5.2        | ▲25.0   | ▲73.5   | 243                   | ▲26.9   | 99.6                     | ▲1.9    |
| 8        | 16.6    | ▲51.8   | 4,570    | ▲4.0    | 186            | 23.2    | 14                         | ▲79.2   | 373      | ▲38.8   | ▲29.3       | ▲20.4   | ▲92.6   | 539                   | ▲0.8    | 100.0                    | ▲1.8    |
| 9        | 61.3    | ▲61.1   | 1,795    | ▲68.5   | 264            | 73.1    | 55                         | 33.1    | 437      | ▲30.2   | ▲3.0        | ▲30.0   | ▲62.0   | 371                   | 13.6    | 99.7                     | ▲2.2    |
| 出所       | 門司税関    |         | 県内主要4魚市場 |         | 西日本建設業保証       |         | 国土交通省                      |         |          |         | 長崎県観光振興推進本部 |         |         |                       | 総務省     |                          |         |

| 項目<br>年月 | 大型小売店<br>販売額 |      | 乗用車          |       |             |       | 家計消費支出(勤労者世帯) |      |         |       | 有効求人<br>倍率 | 倒産件数     |       | 預金残高   |      | 貸金残高   |      |
|----------|--------------|------|--------------|-------|-------------|-------|---------------|------|---------|-------|------------|----------|-------|--------|------|--------|------|
|          |              |      |              |       |             |       | 可処分所得         |      | 消費支出    |       |            |          |       |        |      |        |      |
|          |              |      | 乗用車新規登録台数    |       | 軽乗用車販売台数    |       | 長崎市           |      | 長崎市     |       |            |          |       |        |      |        |      |
| 百万円      | 前年比(%)       | 台    | 前年比(%)       | 台     | 前年比(%)      | 円     | 前年比(%)        | 円    | 前年比(%)  | 倍     | 件          | 前年比(%)   | 億円    | 前年比(%) | 億円   | 前年比(%) |      |
| 2006年    | 133,933      | ▲4.2 | 22,652       | ▲10.3 | 24,851      | 7.7   | 348,711       | 12.3 | 278,566 | 3.6   | 0.60       | 125      | 7.8   | 40,336 | ▲1.2 | 24,989 | ▲4.9 |
| 2007年    | 130,307      | ▲2.7 | 20,714       | ▲8.6  | 23,506      | ▲5.4  | 364,655       | 4.6  | 315,656 | 13.3  | 0.62       | 148      | 18.4  | 40,923 | 1.5  | 24,456 | ▲2.1 |
| 2008年    | 124,827      | ▲4.2 | 20,245       | ▲2.3  | 23,250      | ▲1.1  | 364,276       | ▲0.1 | 296,622 | ▲6.0  | 0.57       | 178      | 20.3  | 40,931 | 0.0  | 23,693 | ▲3.1 |
| 2008.8   | 10,408       | ▲5.2 | 1,348        | ▲3.1  | 1,471       | ▲0.9  | 341,872       | 2.4  | 300,624 | ▲6.9  | 0.57       | 15       | ▲21.1 | 41,278 | 0.6  | 23,973 | ▲2.3 |
| 9        | 8,931        | ▲6.1 | 2,076        | ▲0.6  | 2,054       | 2.7   | 330,857       | 17.3 | 278,198 | ▲0.4  | 0.56       | 15       | 15.4  | 40,619 | ▲0.7 | 23,686 | ▲2.9 |
| 10       | 9,371        | ▲5.9 | 1,393        | ▲17.7 | 1,762       | 14.0  | 332,687       | 10.7 | 267,449 | ▲12.5 | 0.55       | 15       | ▲21.1 | 40,441 | ▲0.2 | 23,514 | ▲3.0 |
| 11       | 10,226       | ▲3.9 | 1,387        | ▲21.7 | 1,854       | 13.0  | 299,186       | 5.8  | 357,192 | 34.2  | 0.53       | 15       | 36.4  | 40,770 | ▲0.7 | 23,565 | ▲2.6 |
| 12       | 12,995       | ▲7.4 | 1,215        | ▲22.0 | 1,657       | 3.4   | 730,701       | 19.2 | 402,686 | 14.7  | 0.52       | 14       | 27.3  | 40,931 | 0.0  | 23,693 | ▲3.1 |
| 2009.1   | 11,241       | ▲4.3 | 1,236        | ▲25.9 | 1,854       | 0.4   | 296,659       | 10.7 | 309,773 | 5.5   | 0.48       | 10       | ▲16.7 | 40,635 | 0.4  | 23,985 | ▲0.7 |
| 2        | 8,600        | ▲7.8 | 1,414        | ▲28.3 | 1,994       | ▲8.7  | 352,389       | 15.9 | 270,656 | 7.7   | 0.44       | 6        | ▲57.1 | 41,074 | 1.3  | 24,109 | ▲0.9 |
| 3        | 9,423        | ▲7.4 | 2,277        | ▲23.5 | 2,912       | ▲6.0  | 342,420       | 26.7 | 318,252 | ▲1.4  | 0.41       | 6        | ▲66.7 | 40,815 | 1.2  | 24,137 | ▲3.0 |
| 4        | 9,455        | ▲4.6 | 1,131        | ▲17.6 | 1,486       | ▲11.1 | 372,751       | 15.9 | 328,237 | 17.1  | 0.41       | 14       | ▲6.7  | 41,521 | 1.4  | 23,256 | ▲3.9 |
| 5        | 9,635        | ▲4.8 | 1,308        | ▲3.6  | 1,526       | ▲14.9 | 316,759       | 15.4 | 284,541 | 9.3   | 0.41       | 12       | 9.1   | 42,507 | 2.6  | 23,765 | ▲1.6 |
| 6        | 9,216        | ▲5.3 | 1,756        | 13.4  | 1,778       | ▲8.9  | 545,894       | 3.4  | 292,139 | 12.8  | 0.41       | 12       | ▲29.4 | 42,231 | 2.1  | 23,178 | ▲2.6 |
| 7        | 10,982       | ▲7.6 | 1,979        | 2.5   | 1,876       | ▲1.6  | 379,088       | 2.4  | 306,726 | 7.3   | 0.39       | 7        | ▲58.8 | 41,651 | 1.4  | 23,255 | ▲2.7 |
| 8        | 9,821        | ▲5.6 | 1,432        | 6.2   | 1,490       | 1.3   | 310,644       | ▲9.1 | 273,050 | ▲9.2  | 0.39       | 11       | ▲26.7 | 41,697 | 1.0  | 23,239 | ▲3.1 |
| 9        | 8,500        | ▲4.8 | 2,315        | 11.5  | 1,958       | ▲4.7  | 303,736       | ▲8.2 | 259,708 | ▲6.6  | 0.40       | 5        | ▲66.7 | 41,024 | 1.0  | 22,974 | ▲3.0 |
| 出所       | 九州経済産業局      |      | 日本自動車販売協会連合会 |       | 全国軽自動車協会連合会 |       | 総務省           |      |         |       | 厚生労働省      | 東京商工リサーチ |       | 日本銀行   |      |        |      |

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚げ金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パールシーリゾート、平戸城、ハウステンボス、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

# 貿易お役立ち情報

Useful Information

## アジア展示会情報

イベント等は主催者側の都合により変更されることもあります。ご不明な点がございましたら、FFG営業企画部総合調査グループまでお問い合わせください。TEL 092 - 723 - 2576

### 北京

| 場 所      | 展 覧 会 名                       | 期 間           |
|----------|-------------------------------|---------------|
| 中国国際展覧中心 | 2010年 happy New Year 買物祭り     | 12月26日 ~ 1月3日 |
|          | 2010年北京旧正月用品博覧会               | 1月23日 ~ 2月7日  |
|          | 2010年アジア国際ブランドスポーツ用品博覧会       | 3月4日 ~ 3月6日   |
|          | 第17回中国(北京)国際建築装飾及び材料博覧会       | 3月16日 ~ 3月18日 |
|          | 2010年中国国際暖房、供熱、空調、通風製品及び技術展覧会 | 3月16日 ~ 3月18日 |
|          | 2010年第10回中国(北京)国際石油石化技術設備展覧会  | 3月22日 ~ 3月24日 |
|          | 2010年中国国際ラジオ放送、テレビ情報ネットワーク展覧会 | 3月23日 ~ 3月25日 |

### 大連

|          |                     |                 |
|----------|---------------------|-----------------|
| 大連星海会展中心 | 第14回大連国際迎春ブランド商品博覧会 | 12月17日 ~ 12月26日 |
|----------|---------------------|-----------------|

### 上海

|               |                                                              |                 |
|---------------|--------------------------------------------------------------|-----------------|
| 上海世貿商城(上海マート) | 第4回上海ビル省エネルギー技術及び設備展/ビル省エネルギーフォーラム<br>2009上海不動産サービス技術及び設備展覧会 | 12月22日 ~ 12月24日 |
| 上海光大会展中心      | 第9回全国農産品(上海)交易博覧会                                            | 12月24日 ~ 12月28日 |
|               | 2009年浙江(上海)良質農産品展覧会                                          | 12月25日 ~ 12月28日 |

### 香港・マカオ

|                                          |                                                        |               |
|------------------------------------------|--------------------------------------------------------|---------------|
| Hong Kong Convention & Exhibition Centre | 香港貿易局香港玩具 & ゲーム・フェア                                    | 1月11日 ~ 1月14日 |
|                                          | 香港国際文具フェア                                              |               |
|                                          | 香港ベビープロダクトフェア                                          |               |
|                                          | 香港貿易局香港ファッションウィーク秋/冬2011                               | 1月18日 ~ 1月21日 |
|                                          | 香港貿易局ワールド・ベティック香港                                      | 2月25日 ~ 2月28日 |
|                                          | 2010香港国際毛皮 & ファッションフェア                                 |               |
|                                          | 香港インターナショナル・ジュエリー・ショー                                  | 3月5日 ~ 3月9日   |
| Asia World Expo                          | 香港婚礼エキスポ 2010                                          | 3月19日 ~ 3月21日 |
|                                          | 香港国際フィルム & テレビマーケット 2010                               | 3月22日 ~ 3月25日 |
|                                          | APLF-Materials, Manufacturing & Technology 2010(皮革フェア) | 3月29日 ~ 3月31日 |
|                                          | 香港モーターショー(ピーチウェアショー)                                   | 3月30日 ~ 3月13日 |
| ベネチアン マカオ                                | アジアファッションジュエリー & アクセサリーフェア(3月)                         | 3月3日 ~ 3月6日   |
|                                          | CARTES in Asia 2010(デジタルセキュリティ & スマートテクノロジーエキスポ)       | 3月16日 ~ 3月18日 |
| マカオ ジュエリー & ウォッチフェア                      |                                                        | 3月16日 ~ 3月18日 |

### ホーチミン・ハノイ

|                                                     |                                                             |               |
|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------------|
| Ho Chi Minh Tan Binh Exhibition & Convention Centre | 熱換気・エアコン・冷蔵・空気を過・浄化に関する国際展示会<br>ベトナム国際流体・エア・ガスハンドリングシステム展示会 | 3月18日 ~ 3月20日 |
| Saigon Exhibition & Convention Centre               | 第5回ベトナム充填・包装処理展示会                                           | 3月18日 ~ 3月20日 |
|                                                     | 第3回ベトナムプラスチック・ラバーテクノロジー & 材料展示会                             |               |
| Vietnam National Convention Centre, Hanoi           | 第5回造船・海洋工学・輸送に関する国際展示会                                      | 3月17日 ~ 3月19日 |

### 深セン

| 場 所                                                | 展 覧 会 名                    | 期 間           |
|----------------------------------------------------|----------------------------|---------------|
| 深セン会議展覧中心(Shenzhen Convention & Exhibition Centre) | 中国国際金・ジュエリー・宝飾品フェア 深セン2010 | 3月9日 ~ 3月12日  |
|                                                    | ZOW 深セン2010(家具展示会)         | 3月19日 ~ 3月22日 |
|                                                    | 中国深セン国際機械 & 鋳造産業展示会        | 3月28日 ~ 3月31日 |

### 広州

|                                                                       |                                       |               |
|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------|
| 広州中国輸出商品取引会<br>琶洲展覧館<br>(China Import & Export Fair {Pazhou} Complex) | 2010ハッピーチャイナ スプリングショッピングフェスティバル 広州    | 1月8日 ~ 1月19日  |
|                                                                       | 中国サイン・LED・ネオンショー 2010                 | 3月2日 ~ 3月5日   |
|                                                                       | 第6回中国国際自動車アフターマーケット & チューニング産業見本市(広州) | 3月3日 ~ 3月5日   |
|                                                                       | 第7回広州国際自動車用エアコン & コールドチェーン技術展示会       | 3月4日 ~ 3月6日   |
|                                                                       | SPS・産業オートメーションフェア 広州                  | 3月8日 ~ 3月11日  |
|                                                                       | 広州国際ビューティ & コスメティック輸出入品エキスポ 2010春     | 3月9日 ~ 3月11日  |
|                                                                       | 第17回華南ラベル印刷技術に関する中国国際展示会              |               |
|                                                                       | 中国水・廃水等処理におけるポンプ・バルブ・パイプ展示会 2010      | 3月18日 ~ 3月21日 |
|                                                                       | 第5回国際マイクロフォン & オーディオビデオ機器フェア 2010     |               |
|                                                                       | 中国広州国際セラミック博覧会                        |               |
| 保利世貿博覧館<br>(Poly World Trade Centre Expo)                             | 第23回中国広州国際家具博覧会                       | 3月18日 ~ 3月21日 |
|                                                                       | 中国広州国際家庭用織物及びアクセサリ博覧会2010             |               |
|                                                                       | 中国広州国際家庭装飾品・用品展覧会2010                 |               |
|                                                                       | 中国広州国際アウトドア及び余暇娯楽用品展覧会2010            | 3月27日 ~ 3月30日 |
|                                                                       | 中国広州国際家具博覧会(オフィス用家具展覧会)               |               |
|                                                                       | 中国広州国際木工機械、家具材料展覧会                    | 3月30日 ~ 4月1日  |
|                                                                       | 第7回広州国際レジャー & レクリエーション産業エキスポ          |               |
| 広州ホーム家具トレーディングフェア 2010春                                               |                                       | 3月18日 ~ 3月21日 |

### バンコク

|                                          |                                            |               |
|------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------|
| Queen Sirikit National Convention Centre | タイ ゲームショー2010                              | 1月8日          |
|                                          | ハッピーキッズフェスティバル2010                         | 1月14日 ~ 1月17日 |
|                                          | 第7回タイ国際旅行フェア 2010                          | 2月25日 ~ 2月28日 |
|                                          | Victam Asia 2010(ペットフード等の技術・機器に関するトレードショー) | 3月3日 ~ 3月5日   |
|                                          | Grapas Asia 2010(製粉・ヌードル製造・米加工工業に関する展示会)   | 3月3日 ~ 3月5日   |
| Impact Exhibition & Convention Centre    | 第38回ナショナルブックフェア & 第8回バンコク国際ブックフェア          | 3月26日 ~ 4月6日  |
|                                          | ボイラー & 圧力容器見本市2010                         | 2月24日 ~ 2月27日 |
|                                          | 第14回ビジネスチャンス & フランチャイズエキスポ 2010            | 2月25日 ~ 2月28日 |
|                                          | オフィスオートメーションネットワーク & ステーションナリフェア2010       | 2月25日 ~ 2月28日 |
|                                          | 第45回バンコク宝飾品 & ジュエリーフェア 2010                | 2月26日 ~ 3月2日  |
|                                          | 家具エキスポ2010                                 | 2月27日 ~ 3月7日  |
|                                          | 婚礼エキスポ2010                                 | 2月27日 ~ 3月7日  |
|                                          | ファッション & フードエキスポ2010                       | 2月27日 ~ 3月7日  |
|                                          | 美容・スパ・健康 & スポーツエキスポ 2010                   | 2月27日 ~ 3月7日  |
|                                          | タイ国際家具フェア2010                              | 3月10日 ~ 3月14日 |

お申込みはFAXまたは下記ホームページへ

FAX

092-721-9258 まで送信ください。

## 中堅・中間管理職向け

好評につき第2回目！！

# 『実践・実戦型！マーケティングセミナー』

～戦略を実現し、時代を勝ち抜くビジネスリーダー育成に向けて～

「売上が伸びない」「客足が遠のいた」・・・主な原因は、  
**競合優位性が明確になっていない** **市場の変化に対応していない**  
この2点です。このセミナーでは、ビジネスの最前線に立つ営業マネージャーである講師が、**競合優位性を明確にし、市場の変化に対応する**ための具体的な方法論をレクチャーします。  
好評をいただいた前回同様、皆様のビジネスに直結する「**実践的で**」「**役に立つ**」「**効果のある**」セミナー内容となっています。

### 講師

株式会社ビジネスリファイン  
取締役副社長

こめたに じゅんこ

米谷 淳子 氏

### セミナー内容

- マーケティングとは何か？
- 顧客はあなたの会社から何を買っているのか？
- 市場・顧客の変化の本質：顧客価値の必要性
- 顧客価値を創造する5つの要因：START
- STARTによる顧客価値の創造1. 2
- 顧客との関係性の変化：コミュニケーションの重要性
- 顧客価値をいかに伝えるか：コミュニケーション・プロセス

### 開催概要

| 開催地区 | 日程             | 会場                          | 会場住所            | 定員  |
|------|----------------|-----------------------------|-----------------|-----|
| 北九州  | 平成21年12月10日(木) | ステーションホテル小倉                 | 北九州市小倉北区浅野1-1-1 | 50名 |
| 福岡   | 平成21年12月11日(金) | 福岡銀行本店ビル<br>4階セミナールーム       | 福岡市中央区天神2-13-1  | 50名 |
| 熊本   | 平成21年12月17日(木) | KKRホテル熊本                    | 熊本市千葉城町3-31     | 50名 |
| 佐世保  | 平成21年12月18日(金) | ホテルリソル佐世保<br>(旧ホテルトリニティ佐世保) | 佐世保市白南風町8-17    | 50名 |

【時間】 各回 13:00～17:00

【受講料】 FFG経営者クラブ会員企業：無料 会員以外：お一人様5,000円(税込)

【主催】 FFG経営者クラブ、福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行、FFGビジネスコンサルティング

### お申し込み方法

下記の参加申込書をご記入の上、FFG経営者クラブ事務局宛にFAXにてお送りいただくか、または下記のホームページにアクセスの上、「商談会・セミナー情報」よりお申し込みください。(先着順ですので、お早めにお申し込みください。)

FFGビジネスコンサルティングホームページ <http://www.ffgbc.com/>

|                          |   |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |  |  |       |    |
|--------------------------|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|--|--|-------|----|
| ふくぎんFFG経営者クラブ<br>会員番号    | 1 | 7 | 7 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |  |  | お取引支店 | 支店 |
| 熊本ファミリーFFG経営者クラブ<br>会員番号 | 5 | 8 | 7 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |  |  | お取引支店 | 支店 |
| しんわFFG経営者クラブ<br>会員番号     | 8 | 1 |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |  |  | お取引支店 | 支店 |
| FFG経営者クラブ<br>会員以外の方      |   |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 銀行 |  |  | お取引支店 | 支店 |

\*会員番号がご不明な場合は、所属されている各クラブ名を○で囲み、番号は空欄のままでご提出ください。

|     |     |     |       |     |
|-----|-----|-----|-------|-----|
| 貴社名 |     |     | 業種    |     |
| ご住所 | 〒 - |     | 電話番号  |     |
|     |     |     | FAX番号 |     |
| 参加者 | ご役職 | お名前 | ご役職   | お名前 |
|     |     |     |       |     |
|     |     |     |       |     |

※ご記入いただきました、お客様の個人情報は、(株)福岡銀行、(株)熊本ファミリー銀行、(株)親和銀行、(株)FFGビジネスコンサルティングにおいて、本セミナーの円滑な運営のためにのみ利用させていただきます。

### お問合せ先

株式会社 FFGビジネスコンサルティング内  
FFG経営者クラブ事務局  
〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1

TEL

092-723-2241

FAX

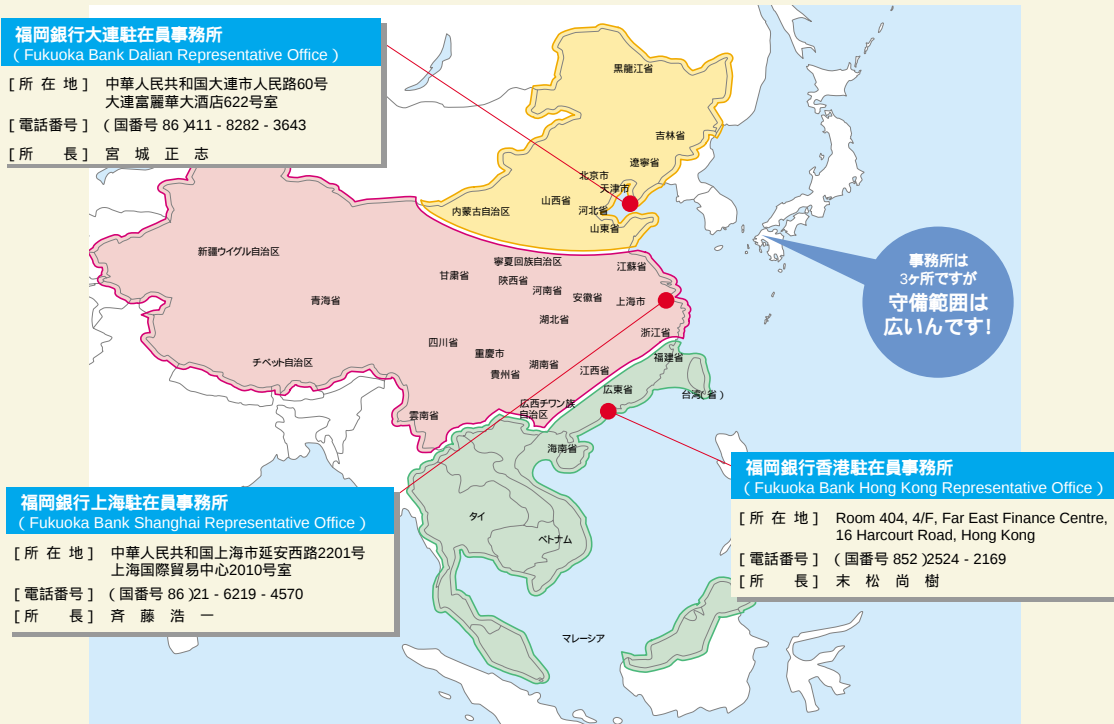
092-721-9258

# 海外拠点紹介

## 海外駐在員事務所の位置と担当範囲

海外拠点にて海外直接投資や、貿易に関する情報収集等を行っています。海外進出等ご検討のお客様、海外のことならお任せください！

海外拠点へのご用命・ご訪問は、取引店へお申し出ください。



**FFG** ふくおかフィナンシャルグループ

## 編集後記

今月のトップに聞くでは「竹下製菓」さんを同行訪問させていただきました。子供の頃にいっぱい食べた「ブラックモンブラン」の製造ラインを見学し、アイスを試食させていただきましたながら「当たりくじ」にワクワクしていた自分を思い出しました。「おいしい、楽しい商品を作って社会に奉仕する」という理念に納得です。

島 浦

「事業承継セミナー」に多数ご参加いただきありがとうございました。資料によれば、廃業する中小企業の約4社に1社(年間約7万社)が事業承継難を理由に廃業に追込まれているそうです。これからの日本を支えていくためにも事業承継は非常に重要な課題ですので、これからも継続して取り上げて行きたいと思います。

稲 葉

今回のレポートの中で紹介いたしました「自らのことを知る大切さ」という考えは、古代中国の兵法書である「孫子」の中でも記述されています。孫子以外にも、「楽しむことの大切さ」について記述してある「論語」など、古典が教えてくれる「原理原則」は、先行き不透明な今の時代だからこそ大切にしたいものです。

花 谷

2008年の上海市の人口は1,888万人と公表されています。昨年までの人口増加と所得水準の向上など、中国経済の堅調ぶりから上海の百貨店では人が多く、購買力の高さを目の当たりにします。上海では外資系百貨店の進出が著しく競争が激化していますが、その理由が頷けます。

田 中

小学生の頃(約30年前) 石油はあと30年で枯渇すると学びましたが、原油探掘技術の進歩なのが、未だに売り切れる様子はみません。ただ、1960年の油田発見ピークから、約50年(2010年頃)で「オイルピーク」を迎え、以後は原油価格が大幅に高騰するという説があります。この先はお天道様次第、でしょうか？

今 村

# FFG経営者クラブのご案内

価値ある情報と経営支援サービスで  
**貴社の発展をサポートいたします!**

## FFG経営者クラブに入会すれば…

### 1 個別商談会やビジネス交流会で販路を拡大します。

【最近の実績】 「フード・アグリアイランド九州2009」(09年5月・福岡)  
「2009大連ー九州ビジネス商談会」(09年5月・大連)



### 2 最新の実務情報や経営者の本音を直接聞けます。

「FFG経営者クラブ主催・各種セミナー」／「日経ベンチャー経営セミナー」

### 3 ヒント満載の専門情報を毎月お届けします。

「日経トップリーダー」など多彩なラインナップ「ブックセレクトサービス」  
会員限定メニューが満載「NVCマンスリー」



### 4 移動時間にもムダなく情報収集ができます。

旬の話題、実務のツボを毎月60分で。  
「トップの情報CD」で通勤中もラクラク情報収集。

### 5 約3,200項目の詳細な調査レポートが、いつでも使えます。

経営全般から健康管理まで、ビジネス上の課題に即座にお応えする「ビジネスレポート」



### 6 インターネットでも、強力にサポートします。

条件を入力して、受給可能なものをカンタン検索「助成金・補助金サーチ」  
「売りたい」「買いたい」情報を全国に発信「バーチャル商談会」

### 7 社内研修も、多彩なテーマでバックアップします。

営業、販売、経理・財務、人事など「教育研修用ビデオ貸出サービス」

年会費  
**35,000円** (税込み)  
お申し込みは下記の事務局まで

## 「FFG経営者クラブ」事務局

株式会社FFGビジネスコンサルティング ビジネスコンサルティング部内 〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階

**TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258**

あなたのいちばんに。



ふくおかフィナンシャルグループ